

# 平成 14 年度 P R T R 届出データの 前年度との比較

平成 1 6 年 3 月

独立行政法人  
製品評価技術基盤機構 ( N I T E )



## 目次

はじめに .....	3
1.届出数の前年度との比較 .....	5
(1)届出総数の状況 .....	5
(2)業種別届出状況 .....	5
(3)都道府県別の届出状況 .....	6
(4)媒体別届出状況 .....	6
2.届出排出量・移動量の前年度との比較 .....	7
(1)届出排出量・移動量 .....	8
(2)届出排出量 .....	10
(3)届出移動量 .....	16
3.業種別の届出排出量・移動量の前年度との比較 .....	20
(1)全業種の届出排出量・移動量の主な状況 .....	20
(2)業種別の届出排出量・移動量 .....	25
4.都道府県別の届出排出量・移動量の前年度との比較 .....	34
(1)全都道府県の届出排出量・移動量の主な状況 .....	34
(2)全都道府県の届出排出量の主な状況 .....	36
(3)都道府県別の届出排出量 .....	38
5.集計表：物質別届出排出量・移動量	

## はじめに

本資料は、独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）が特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下、「化管法」という）第 8 条第 4 項及び第 9 条第 2 項に基づき国が公表した平成 13 年度及び平成 14 年度の「化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果」などを用い、2 年間の届出排出量、届出移動量等の比較を行い、その結果をまとめたものです。

### (1) 利用したデータ

本資料の作成にあたり用いたデータは

化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果（平成 13 年度）

化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果（平成 14 年度）

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/kouhyo.htm](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/kouhyo.htm)

環境省 <http://www.prtr-info.jp/>

N I T E <http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/prtr.htm>

平成 14 年度 P R T R データの概要 - 化学物質の排出量・移動量の集計結果 -

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/kouhyo.htm](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/kouhyo.htm)

環境省 <http://www.prtr-info.jp/>

N I T E [http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/total\\_indexh14.html](http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/total_indexh14.html)

化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項（平成 13 年度）

化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項（平成 14 年度）

経済産業省 [http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/kaiji.htm](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/kaiji.htm)

環境省 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/8/8index.html>

です。

平成 13 年度の化管法に基づく届出排出量及び移動量並びに届出外排出量の集計結果及び化管法第 11 条に基づき開示されたファイル記録事項は平成 16 年 3 月 29 日に改訂されたデータを使用しました。

### (2) 数値の精度

本資料では排出量、移動量等の量に対しては有効数字 2 桁以上の千トン又はトン単位で記述し、比率に関しては有効数字 2 桁で記述しています。

### (3) 用語の省略

本資料に記載している業種名及び対象物質名は、本文や図表を見易くするため、以下の用語（省略）を用いています。

	本資料で用いる名称(省略)	1.利用したデータ にある名称
業種	一般廃棄物処理業	一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)
	産業廃棄物処分量	産業廃棄物処分量(特別管理産業廃棄物処分量を含む。)
物質	銅水溶性塩	銅水溶性塩(錯塩を除く。)
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)
	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)

又、排出及び移動に関して以下の用語を用いています。

	本資料で用いる用語	法施行規則第四条第二項及び三項にある名称
排出	大気への排出	大気への排出
	公共用水域への排出	公共用水域への排出
	土壌への排出	当該事業所における土壌への排出（当該事業所における埋立処分以外）
	埋立処分	当該事業所における埋立処分
移動	廃棄物としての移動	当該事業所の外への移動（下水道への移動以外）
	下水道への移動	下水道への移動

#### (4)用語の解説

第一種指定化学物質：

化管法施行令（平成 12 年政令第 138 号）別表 1 の名称であり、本資料ではこれ以外の物質は登場しません。また、本文中、「物質」、「化学物質」、「対象化学物質」と書かれているものは全て第一種指定化学物質をさします。

媒体：

排出先（大気、公共用水域、土壌、埋立処分）又は移動先（廃棄物、下水道）のことです。

排出量：

大気への排出量、公共用水域への排出量、土壌への排出量及び埋立処分量の合計のことです。

移動量：

廃棄物としての移動量及び下水道への移動量の合計のことです。

排出量・移動量：

排出量及び移動量の合計のことです。

届出排出量、届出移動量等：

本資料では「1.利用したデータ」の内、事業所から届出られたデータ部分のみの比較を行っています。特に断りのない限り排出量、移動量と届出排出量、届出移動量は同じ意味で用いています。なお、大気への排出や公共水域への排出等、個々の媒体別の排出又は移動の場合は「届出」を省略しています。

総排出量、総移動量：

「総」を付けた排出量、移動量、排出量・移動量等は物質、業種及び都道府県に関してすべて合計した量であり、媒体でのみ区別されます。例えば、「大気への総届出排出量」とは大気に排出された対象化学物質の全ての合計量のことです。

#### (5)N I T E とは

独立行政法人製品評価技術基盤機構の略称です。

N I T E の化学物質管理センターリスク管理課は P R T R 制度の中核的实施機関として、排出量等の届出データの集計、公表などを行うための実施体制の整備やシステム開発を行っています。また、「P R T R サポートセンター」をセンター内に設置して P R T R 制度、M S D S 制度についての情報提供を行うとともに、事業者をはじめ関係する全ての方からの実務的あるいは技術的な質問等に応えられる体制を整備しています。

# 1. 届出数の前年度との比較

## (1) 届出総数の状況

年度 (平成)	届出 事業者数	届出 事業所数	届出物質数 (のべ)	届出物質数 (種類)
14	12,125	34,517	186,180	333
13	12,620	34,820	182,714	337
差 *1	495 減少	303 減少	3,466 増加	4 減少 *2

\*1 差 : (平成 14 年度データ) - (平成 13 年度データ)

\*2 平成 13 年度は届出があり、平成 14 年度は届出がなかった物質 : 8 物質  
平成 14 年度に初めて届出があった物質 : 4 物質

## (2) 業種別届出状況

上段 : 14 年度      下段 : 13 年度

業種	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	業種	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数
金属鉱業	14	18	31	武器製造業	14	5	12
	13	17	16		13	4	9
原油・天然ガス鉱業	14	30	34	その他の製造業	14	379	85
	13	30	33		13	385	100
食料品製造業	14	337	32	電気業	14	108	42
	13	412	40		13	129	47
飲料・たばこ・飼料製造業	14	98	19	ガス業	14	43	13
	13	100	20		13	43	15
繊維工業	14	213	62	熱供給業	14	5	9
	13	234	66		13	8	9
衣服・その他の繊維製品製造業	14	41	34	下水道業	14	1,507	32
	13	42	36		13	1,458	39
木材・木製品製造業	14	227	27	鉄道業	14	41	11
	13	268	31		13	44	11
家具・装備品製造業	14	99	28	倉庫業	14	126	59
	13	122	24		13	126	61
パルプ・紙・紙加工品製造業	14	308	77	石油卸売業	14	593	7
	13	331	81		13	511	8
出版・印刷・同関連産業	14	300	34	鉄スクラップ卸売業	14	8	9
	13	317	40		13	9	10
化学工業	14	2,088	331	自動車卸売業	14	39	5
	13	2,087	334		13	45	6
石油製品・石炭製品製造業	14	175	79	燃料小売業	14	18,386	11
	13	199	73		13	18,633	10
プラスチック製品製造業	14	828	119	洗濯業	14	115	12
	13	848	126		13	129	13
ゴム製品製造業	14	225	66	写真業	14	1	1
	13	235	65		13	2	1
なめし革・同製品・毛皮製造業	14	24	16	自動車整備業	14	164	8
	13	21	16		13	136	8
窯業・土石製品製造業	14	446	66	機械修理業	14	18	16
	13	442	79		13	20	14
鉄鋼業	14	307	45	商品検査業	14	5	6
	13	328	57		13	5	6
非鉄金属製造業	14	480	78	計量証明業	14	11	5
	13	470	75		13	9	5
金属製品製造業	14	1,297	68	一般廃棄物処理業	14	2,083	41
	13	1,327	74		13	1,920	46
一般機械器具製造業	14	469	51	産業廃棄物処分業	14	527	47
	13	502	53		13	532	50
電気機械器具製造業	14	1,076	87	高等教育機関	14	73	24
	13	1,096	90		13	78	7
輸送用機械器具製造業	14	901	88	自然科学研究所	14	133	28
	13	890	91		13	119	27
精密機械器具製造業	14	160	38	全業種	14	34,517	333
	13	157	35		13	34,820	337

(3)都道府県別の届出状況

上段：14年度 下段：13年度

都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数
北海道	14	1,961	125	石川県	14	491	103	岡山県	14	854	166
	13	1,961	133		13	490	96		13	847	164
青森県	14	344	61	福井県	14	374	129	広島県	14	878	173
	13	341	60		13	349	122		13	908	177
岩手県	14	455	65	山梨県	14	345	68	山口県	14	567	188
	13	354	63		13	327	67		13	569	192
宮城県	14	673	94	長野県	14	1,191	95	徳島県	14	285	115
	13	668	91		13	1,200	96		13	252	113
秋田県	14	505	67	岐阜県	14	773	114	香川県	14	339	81
	13	501	65		13	816	118		13	350	80
山形県	14	525	82	静岡県	14	1,474	185	愛媛県	14	425	129
	13	560	84		13	1,534	187		13	431	135
福島県	14	852	169	愛知県	14	2,071	167	高知県	14	185	45
	13	912	187		13	2,150	168		13	196	46
茨城県	14	967	178	三重県	14	549	161	福岡県	14	1,270	142
	13	966	185		13	676	160		13	1,339	144
栃木県	14	696	127	滋賀県	14	513	126	佐賀県	14	381	96
	13	727	125		13	508	128		13	398	93
群馬県	14	657	126	京都府	14	535	131	長崎県	14	475	54
	13	704	123		13	523	122		13	484	46
埼玉県	14	1,362	169	大阪府	14	1,642	175	熊本県	14	596	83
	13	1,339	165		13	1,639	181		13	644	87
千葉県	14	1,183	166	兵庫県	14	1,542	178	大分県	14	333	100
	13	1,133	164		13	1,515	180		13	322	104
東京都	14	1,087	109	奈良県	14	293	77	宮崎県	14	351	94
	13	1,123	110		13	245	77		13	364	92
神奈川県	14	1,540	161	和歌山県	14	234	124	鹿児島県	14	468	70
	13	1,563	160		13	226	122		13	413	70
新潟県	14	1,005	135	鳥取県	14	265	44	沖縄県	14	156	41
	13	1,048	136		13	255	45		13	128	40
富山県	14	575	118	島根県	14	275	67	全国	14	34,517	333
	13	580	121		13	242	66		13	34,820	337

(4)媒体別届出状況

	平成 14 年度	平成 13 年度
・紙媒体による届出数	31,239(90.5%)	32,293(92.3%)
・磁気ディスク(フロッピーディスク等)による届出数	2,023( 5.9%)	2,061( 5.9%)
・電子情報処理組織(オンライン)による届出数	1,255( 3.6%)	466( 1.3%)

## 2. 届出排出量・移動量の前年度との比較

平成14年度の届出排出量・移動量の前年度との比較を図1、図2及び表1に示します。

平成14年度総排出量・移動量約508千トンは前年度比21千トン(4.0%)の減少、総排出量約290千トンは前年度比22千トン(7.1%)の減少、総移動量約217千トンは前年度比1.1千トン(0.51%)の増加となっています(以下、約を略す。)。排出の内訳は、大気への排出256千トンは前年度比24千トン(8.5%)の減少、公共用水域への排出12千トンは前年度比0.6千トン(4.8%)の減少、土壌への排出0.31千トンは前年度比71トン(30%)の増加、埋立処分22千トンは前年度比2.0千トン(9.7%)の増加となっています。また、移動の内訳は、廃棄物としての移動214千トンは前年度比2.1千トン(0.98%)の増加、下水道への移動3.0千トンは前年度比0.98千トン(25%)の減少となっています。

図1 平成14年度の届出排出量・移動量の前年度との比較

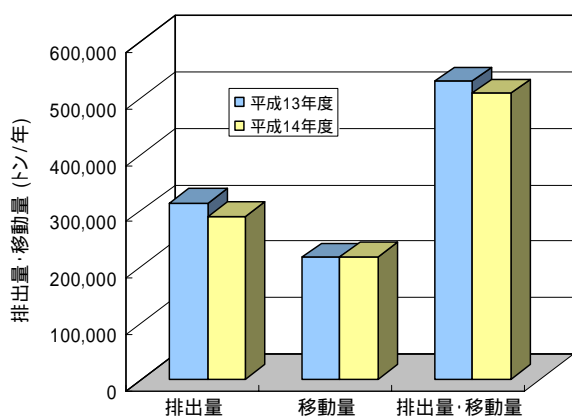


図2 平成14年度の媒体別届出排出量・移動量の前年度との比較

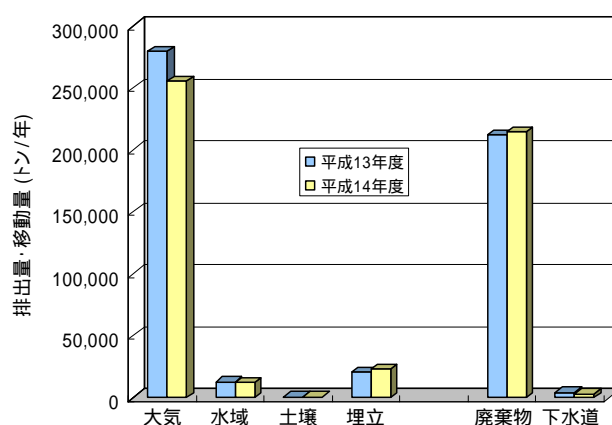


表1 平成14年度の媒体別届出排出量・移動量の前年度との比較

媒体		平成14年度:(a)	平成13年度:(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
排出量 (トン/年)	大気への排出	255,676	279,482	-23,805	0.91
	公共用水域への排出	12,031	12,631	-600	0.95
	土壌への排出	305	234	71	1.30
	埋立処分	22,441	20,451	1,990	1.10
	合計	290,453	312,798	-22,344	0.93
移動量 (トン/年)	廃棄物としての移動	214,498	212,415	2,083	1.01
	下水道への移動	2,995	3,973	-978	0.75
	合計	217,493	216,388	1,104	1.01
排出量・移動量合計 (トン/年)		507,946	529,186	-21,240	0.96

(1)届出排出量・移動量

排出量・移動量の増減

平成 14 年度と前年度の届出排出量・移動量の増減を図 3 及び表 2 に示します。

前年度に比べて排出量・移動量が減少した物質は多い順にトルエン（前年度比 8.1 千トン減）キシレン（同 6.2 千トン減）塩化メチレン（同 3.5 千トン減）N,N-ジメチルホルムアミド（同 2.9 千トン減）等、物質数は 190 物質で合計 39 千トン減少しています。

一方、前年度に比べて排出量・移動量が増加した物質は多い順にマンガン及びその化合物（前年度比 5.2 千トン増）2-アミノエタノール（同 2.6 千トン増）アンチモン及びその化合物（同 1.3 千トン増）等、物質数は 128 物質で合計 18 千トン増加しています。

図 3 平成 14 年度と前年度の届出排出量・移動量の増減（増加又は減少上位 5 物質）

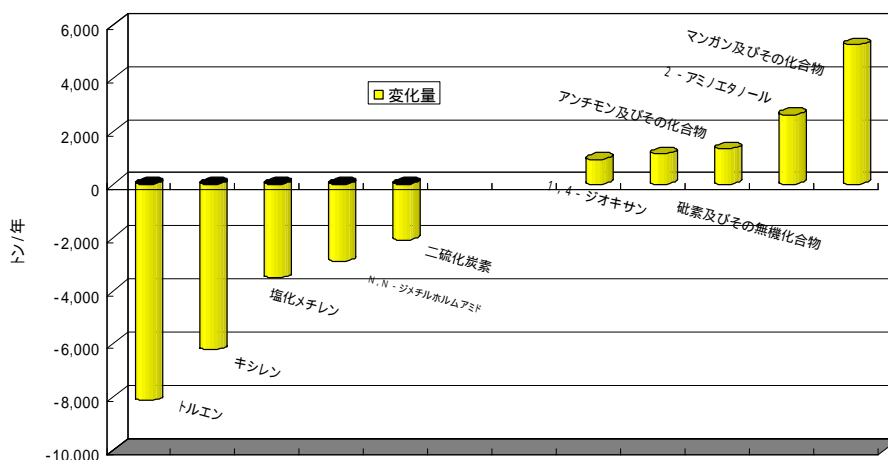


表 2 平成 14 年度と前年度の届出排出量・移動量の増減（減少量の多い順）

対象物質		届出排出量・移動量(トン/年)			
物質番号	物質名	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	169,857	178,002	-8,145	0.95
63	キシレン	59,100	65,338	-6,238	0.90
145	塩化メチレン	33,780	37,308	-3,528	0.91
172	N,N-ジメチルホルムアミド	13,406	16,291	-2,885	0.82
241	二硫化炭素	5,001	7,116	-2,115	0.70
1	亜鉛の水溶性化合物	6,301	7,569	-1,268	0.83
26	石綿	3,168	4,159	-991	0.76
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	690	1,638	-949	0.42
299	ベンゼン	2,551	3,271	-720	0.78
68	クロム及び三価クロム化合物	12,868	13,541	-672	0.95
.	.....	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..
71	o-クロロアニリン	341	55	286	6.23
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	1,875	1,547	328	1.21
43	エチレングリコール	8,379	7,936	443	1.06
338	m-トリレンジイソシアネート	1,214	410	804	2.96
232	ニッケル化合物	4,382	3,460	923	1.27
113	1,4-ジオキサン	3,500	2,564	936	1.36
252	砒素及びその無機化合物	7,363	6,224	1,138	1.18
25	アンチモン及びその化合物	2,033	700	1,333	2.90
16	2-アミノエタノール	5,223	2,600	2,622	2.01
311	マンガン及びその化合物	29,200	23,953	5,247	1.22
合計		507,946	529,186	-21,240	0.96



## 排出量・移動量上位 10 物質

平成 14 年度の届出排出量・移動量上位 10 物質の前年度との比較を図 4 及び表 3 に示します。

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較するとほぼ同じですが、10 番目のエチレングリコールは前年度は 11 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の届出排出量・移動量の合計は 367 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 383 千トンに比べ 16 千トン(4.2%)減少しています。これを物質別にみると、トルエン(前年度比 8.1 千トン減) キシレン(同 6.2 千トン減) 塩化メチレン(同 3.5 千トン減) N, N - ジメチルホルムアミド(同 2.9 千トン減) 等が減少し、マンガン及びその化合物(前年度比 5.2 千トン増) エチレングリコール(同 0.44 千トン増) エチルベンゼン(同 0.17 千トン増) ふっ化水素及びその水溶性塩(同 62 トン増)が増加しています。

図 4 平成 14 年度の届出排出量・移動量上位 10 物質の前年度との比較

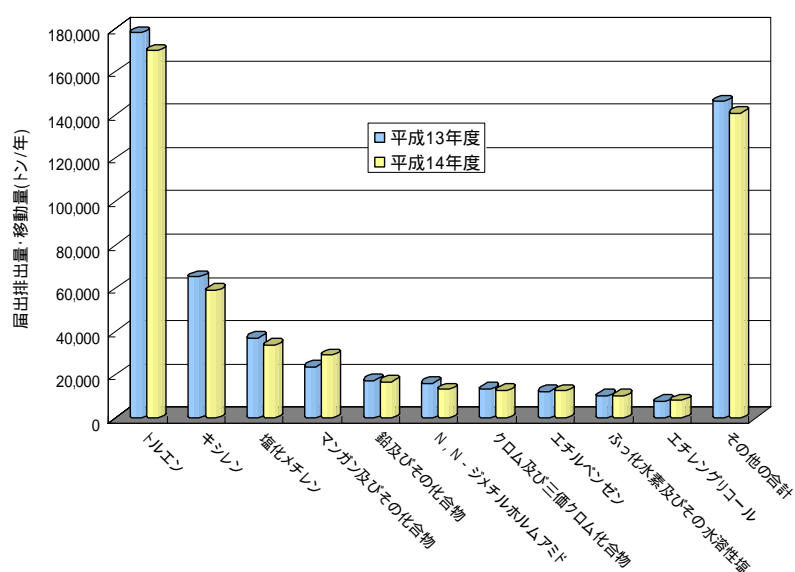


表 3 平成 14 年度の届出排出量・移動量上位 10 物質の前年度との比較

対象物質		届出排出量・移動量(トン/年)			
物質番号	物質名	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	169,857	178,002	-8,145	0.95
63	キシレン	59,100	65,338	-6,238	0.90
145	塩化メチレン	33,780	37,308	-3,528	0.91
311	マンガン及びその化合物	29,200	23,953	5,247	1.22
230	鉛及びその化合物	16,989	17,560	-572	0.97
172	N, N - ジメチルホルムアミド	13,406	16,291	-2,885	0.82
68	クロム及び三価クロム化合物	12,868	13,541	-672	0.95
40	エチルベンゼン	12,725	12,555	171	1.01
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	10,466	10,404	62	1.01
43	エチレングリコール	8,379	7,936	443	1.06
上位10物質の合計		366,771	382,887	-16,116	0.96
合計		507,946	529,186	-21,240	0.96

(2)届出排出量

排出量の増減

平成 14 年度と前年度の届出排出量の増減を図 5 及び表 4 に示します。

前年度に比べて排出量が減少した物質は多い順にトルエン（前年度比 9.6 千トン減）キシレン（同 5.1 千トン減）二硫化炭素（同 2.1 千トン減）、塩化メチレン（同 1.9 千トン減）等、物質数は 168 物質で合計 27 千トン減少しています。

一方、前年度に比べて排出量が増加した物質は多い順にアンチモン及びその化合物（前年度比 1.2 千トン増）砒素及びその無機化合物（同 1.2 千トン増）エチルベンゼン（同 0.71 千トン増）鉛及びその化合物（同 0.31 千トン増）等、物質数は 87 物質で合計 4.4 千トン増加しています。

図 5 平成 14 年度と前年度の届出排出量の増減（増加又は減少上位 5 物質）

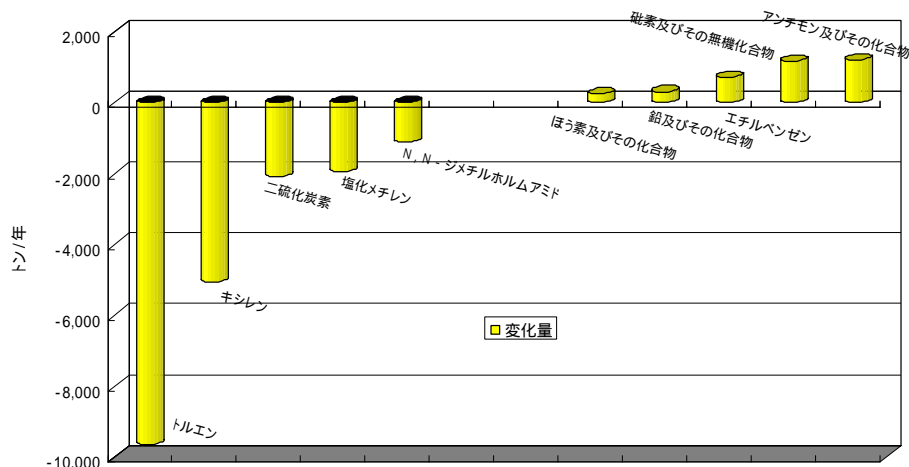


表 4 平成 14 年度と前年度の届出排出量の増減（減少量の多い順）

物質番号	対象物質 物質名	届出排出量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	122,910	132,546	-9,636	0.93
63	キシレン	47,335	52,391	-5,056	0.90
241	二硫化炭素	4,997	7,078	-2,082	0.71
145	塩化メチレン	25,406	27,342	-1,935	0.93
172	N,N-ジメチルホルムアミド	5,217	6,334	-1,116	0.82
299	ベンゼン	1,828	2,432	-605	0.75
96	塩化メチル	3,871	4,405	-535	0.88
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	3,443	3,948	-505	0.87
85	HCF <sub>3</sub> -22	686	1,166	-480	0.59
177	スチレン	4,177	4,645	-468	0.90
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
113	1,4-ジオキサン	248	183	65	1.35
181	チオ尿素	180	115	65	1.56
101	エチレングリコールモノエチル エーテルアセテート	420	353	67	1.19
108	無機シアン化合物	312	244	68	1.28
45	エチレングリコールモノメチル エーテル	1,365	1,133	232	1.21
304	ほう素及びその化合物	2,505	2,258	247	1.11
230	鉛及びその化合物	9,562	9,253	309	1.03
40	エチルベンゼン	9,873	9,159	714	1.08
252	砒素及びその無機化合物	7,182	6,016	1,165	1.19
25	アンチモン及びその化合物	1,220	14	1,206	89.13
合計		290,453	312,798	-22,344	0.93

## 排出量上位 10 物質

平成 14 年度の排出量上位 10 物質の前年度との比較を図 6 及び表 5 に示します。

届出排出量の多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると、物質の種類は同じですが、4 番目以下の順位に変動がみられます。

平成 14 年度の上位 10 物質の届出排出量の合計は 243 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 261 千トンに比べ 18 千トン (7.0%) 減少しています。これを物質別にみると、トルエン (前年度比 9.6 千トン減) キシレン (同 5.1 千トン減) 二硫化炭素 (同 2.1 千トン減) 等が減少し、砒素及びその無機化合物 (前年度比 1.2 千トン増) エチルベンゼン (同 0.71 千トン増) 及び鉛及びその化合物 (同 0.31 千トン増) が増加しています。

図 6 平成 14 年度の届出排出量上位 10 物質の前年度との比較

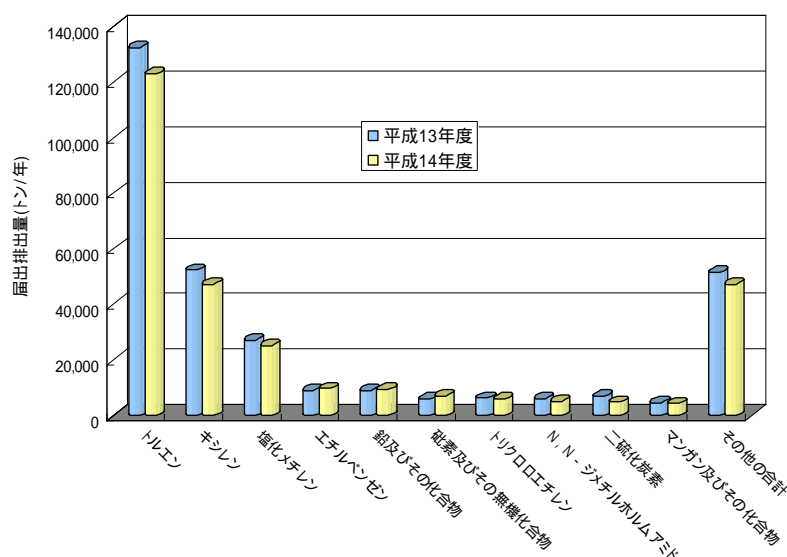


表 5 平成 14 年度の届出排出量上位 10 物質の前年度との比較

対象物質		届出排出量(トン/年)			
物質番号	物質名	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	122,910	132,546	-9,636	0.93
63	キシレン	47,335	52,391	-5,056	0.90
145	塩化メチレン	25,406	27,342	-1,935	0.93
40	エチルベンゼン	9,873	9,159	714	1.08
230	鉛及びその化合物	9,562	9,253	309	1.03
252	砒素及びその無機化合物	7,182	6,016	1,165	1.19
211	トリクロロエチレン	6,048	6,346	-299	0.95
172	N,N-ジメチルホルムアミド	5,217	6,334	-1,116	0.82
241	二硫化炭素	4,997	7,078	-2,082	0.71
311	マンガン及びその化合物	4,503	4,792	-289	0.94
上位10物質の合計		243,033	261,257	-18,224	0.93
合計		290,453	312,798	-22,344	0.93

## 大気への排出量上位 10 物質

平成 14 年度の大気への排出量上位 10 物質の前年度との比較を図 7 及び表 6 に示します。

大気への排出量の多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると物質の種類はほぼ同じで、大気への排出量が 5 番目、6 番目のトリクロロエチレンと二硫化炭素は前年度と順位が入れ替わり、10 番目のテトラクロロエチレンは前年度は 11 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の大気への排出量の合計は 231 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 252 千トンに比べ 21 千トン (8.2%) 減少しています。これを物質別にみると、トルエン (前年度比 9.6 千トン減) キシレン (同 5.1 千トン減) 二硫化炭素 (同 2.0 千トン減) 塩化メチレン (同 1.9 千トン減) N, N - ジメチルホルムアミド (同 1.4 千トン減) 等が減少し、エチルベンゼン (前年度比 0.72 千トン増) 及びテトラクロロエチレン (同 27 千トン増) が増加しています。

図 7 平成 14 年度の大気への排出量上位 10 物質の前年度との比較

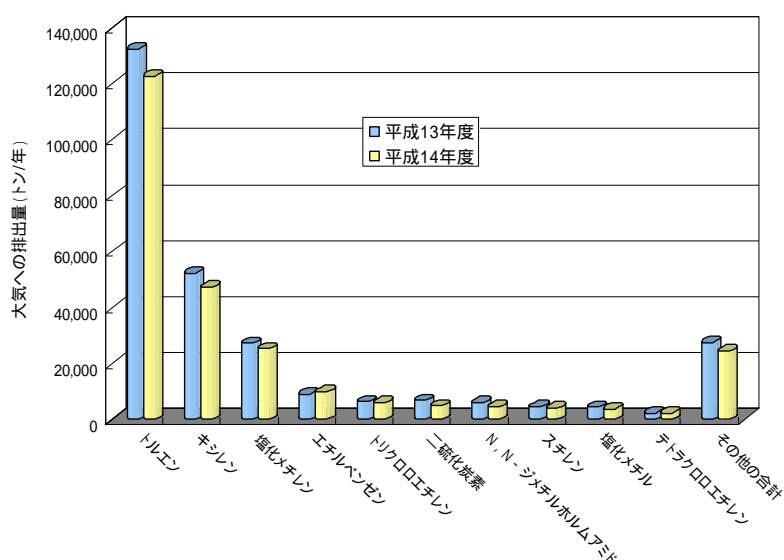


表 6 平成 14 年度の大気への排出量上位 10 物質の前年度との比較

物質番号	対象物質 物質名	大気への排出量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	122,790	132,419	-9,629	0.93
63	キシレン	47,305	52,355	-5,050	0.90
145	塩化メチレン	25,386	27,322	-1,936	0.93
40	エチルベンゼン	9,871	9,157	715	1.08
211	トリクロロエチレン	6,044	6,341	-297	0.95
241	二硫化炭素	4,905	6,938	-2,033	0.71
172	N, N - ジメチルホルムアミド	4,614	6,040	-1,425	0.76
177	スチレン	4,130	4,594	-464	0.90
96	塩化メチル	3,867	4,403	-536	0.88
200	テトラクロロエチレン	2,323	2,296	27	1.01
上位10物質の合計		231,237	251,864	-20,627	0.92
合計		255,676	279,482	-23,805	0.91

## 公共用水域への排出量上位 10 物質

平成 14 年度の公共用水域への排出量上位 10 物質の前年度との比較を図 8 及び表 7 に示します。

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると、5 番目以下では順位の変動がみられ、公共用水域への排出量が 5 番目に多い N, N - ジメチルホルムアミドは前年度は 7 番目、9 番目のチオ尿素は前年度は 17 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の公共用水域への排出量の合計は 9.8 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 9.9 千トンに比べ 0.11 千トン (1.1%) 減少しています。これを物質別にみると、エチレングリコール (前年度比 0.40 千トン減) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 0.31 千トン減) 等が減少し、N, N - ジメチルホルムアミド (前年度比 0.31 千トン増) ほう素及びその化合物 (同 0.26 千トン増) 等が増加しています。ほう素及びその化合物の増加は下水道業からの届出によるものです。

図 8 平成 14 年度の公共用水域への排出量上位 10 物質の前年度との比較

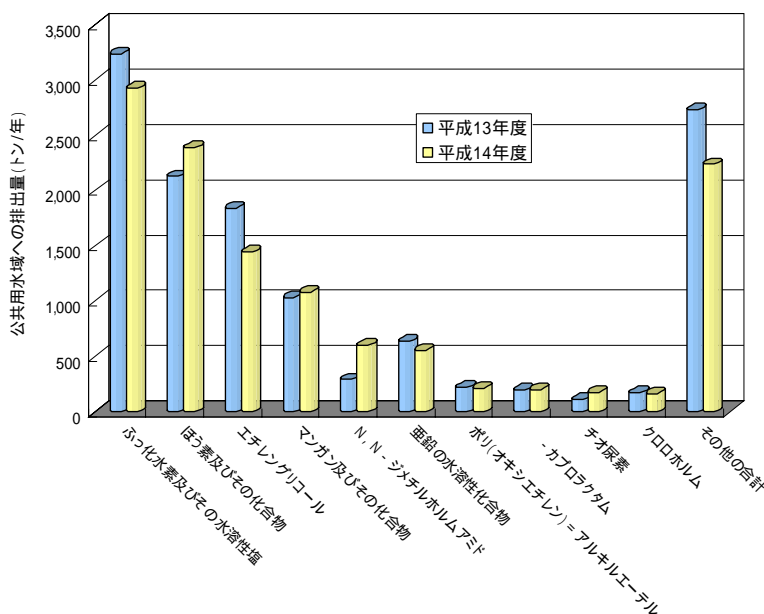


表 7 平成 14 年度の公共用水域への排出量上位 10 物質の前年度との比較

物質番号	対象物質 物質名	公共用水域への排出量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,929	3,236	-307	0.91
304	ほう素及びその化合物	2,392	2,130	262	1.12
43	エチレングリコール	1,449	1,845	-396	0.79
311	マンガン及びその化合物	1,085	1,039	47	1.04
172	N, N - ジメチルホルムアミド	603	294	309	2.05
1	亜鉛の水溶性化合物	561	640	-78	0.88
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	219	226	-7.1	0.97
61	- カプロラクタム	205	200	5.6	1.03
181	チオ尿素	180	115	65	1.56
95	クロロホルム	169	174	-5.8	0.97
上位10物質の合計		9,792	9,899	-107	0.99
合計		12,031	12,631	-600	0.95

### 土壌への排出量上位 10 物質

平成 14 年度の土壌への排出量上位 10 物質の前年度との比較を図 9 及び表 8 に示します。

土壌への排出量が多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると 3 番目以下において順位に変動がみられます。3 番目のビスフェノール A 型エポキシ樹脂は前年度は 7 番目で、5 番目のメタクリル酸メチルは前年度は 17 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の土壌への排出量の合計は 0.30 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 0.23 千トンに比べ 72 トン (31%) 増加しています。これを物質別にみると、スチレン (前年度比 4.2 トン減) 等が減少し、エチレングリコール (前年度比 69 トン増) ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 (同 4.7 トン増) 等が増加しています。

図 9 平成 14 年度の土壌への排出量上位 10 物質の前年度との比較

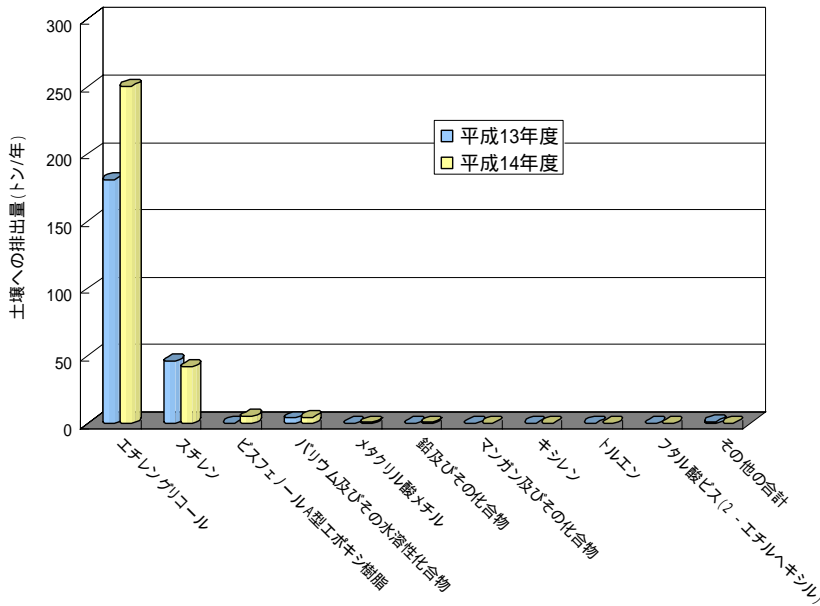


表 8 平成 14 年度の土壌への排出量上位 10 物質の前年度との比較

物質番号	対象物質 物質名	土壌への排出量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
43	エチレングリコール	251	181	69	1.38
177	スチレン	42	46	-4.2	0.91
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)	5.1	0.35	4.7	14.60
243	バリウム及びその水溶性化合物	4.6	3.8	0.82	1.22
320	メタクリル酸メチル	0.71	0.039	0.67	18.21
230	鉛及びその化合物	0.64	0.10	0.55	6.78
311	マンガン及びその化合物	0.36	0.024	0.34	15.08
63	キシレン	0.13	0.37	-0.24	0.36
227	トルエン	0.10	0.18	-0.072	0.59
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.065	0.042	0.023	1.55
上位10物質の合計		304	232	72	1.31
合計		305	234	71	1.30

## 埋立処分量上位 10 物質

平成 14 年度の埋立処分量上位 10 物質の前年度との比較を図 10 及び表 9 に示します。

埋立処分量が多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると 8 物質はほぼ同じですが、4 番目のアンチモン及びその化合物は前年度は 21 番目で、前年度 8 番目のテレフタル酸ジメチルは埋立処分の届がありませんでした。

平成 14 年度の上位 10 物質の埋立処分量の合計は 22 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 20 千トンに比べ 2.1 千トン（10%）増加しています。これを物質別にみると、マンガン及びその化合物（前年度比 0.33 千トン減）、ふっ化水素及びその水溶性塩（同 0.17 千トン減）、クロム及び三価クロム化合物（同 0.10 トン減）等が減少し、砒素及びその無機化合物（前年度比 1.2 千トン増）及びアンチモン及びその化合物（同 1.2 千トン増）等が増加しています。

図 10 平成 14 年度の埋立処分量上位 10 物質の前年度との比較

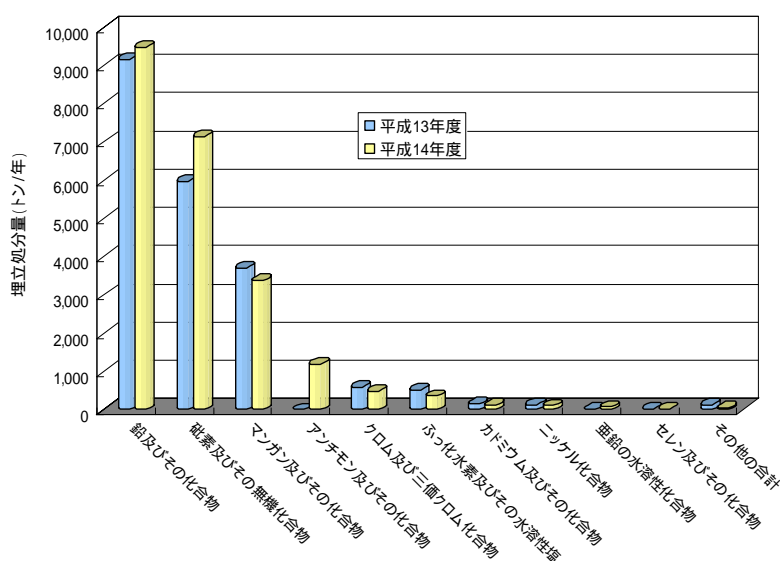


表 9 平成 14 年度の埋立処分量上位 10 物質の前年度との比較

対象物質		埋立処分量(トン/年)			
物質番号	物質名	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
230	鉛及びその化合物	9,485	9,165	320	1.03
252	砒素及びその無機化合物	7,148	5,983	1,165	1.19
311	マンガン及びその化合物	3,387	3,716	-329	0.91
25	アンチモン及びその化合物	1,201	1.3	1,199	916.64
68	クロム及び三価クロム化合物	488	593	-105	0.82
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	353	526	-173	0.67
60	カドミウム及びその化合物	119	155	-36	0.77
232	ニッケル化合物	113	136	-23	0.83
1	亜鉛の水溶性化合物	74	12	62	6.16
178	セレン及びその化合物	22	32	-10	0.69
上位10物質の合計		22,391	20,318	2,072	1.10
合計		22,441	20,451	1,990	1.10

### (3)届出移動量

#### 移動量の増減

平成 14 年度と前年度の届出移動量の増減を図 11 及び表 10 に示します。

前年度に比べて移動量が減少した物質は多い順にN, N - ジメチルホルムアミド(前年度比 1.8 千トン減)、塩化メチレン(同 1.6 千トン減)、亜鉛の水溶性化合物(同 1.2 千トン減)、キシレン(同 1.2 千トン減)等、物質数は 167 物質で合計 17 千トン減少しています。

一方、前年度に比べて移動量が増加した物質は、多い順にマンガン及びその化合物(前年度比 5.5 千トン増)、2 - アミノエタノール(同 2.6 千トン増)、トルエン(同 1.5 千トン増)、ニッケル化合物(同 0.96 千トン増)、1, 4 - ジオキサン(同 0.87 千トン増)等、物質数は 136 物質で合計 18 千トン増加しています。

図 11 平成 14 年度と前年度の届出移動量の増減 (増加又は減少上位 5 物質)

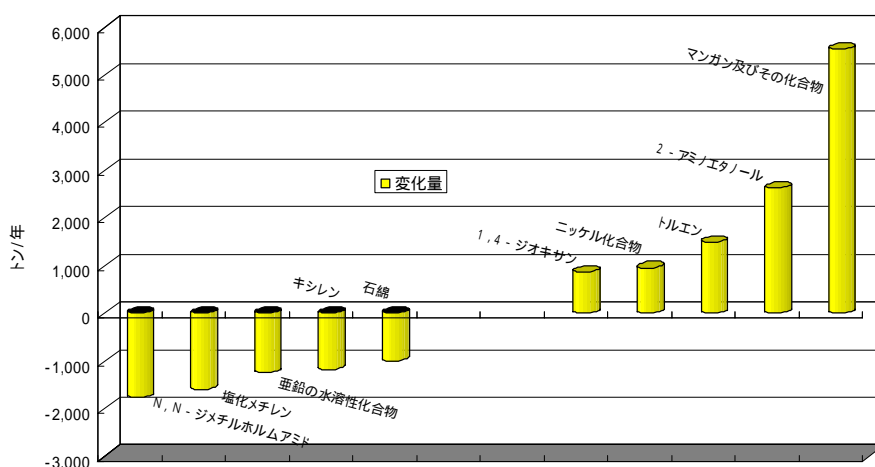


表 10 平成 14 年度と前年度の届出移動量の増減 (減少量の多い順)

物質番号	対象物質 物質名	届出移動量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
172	N, N - ジメチルホルムアミド	8,189	9,957	-1,768	0.82
145	塩化メチレン	8,374	9,966	-1,592	0.84
1	亜鉛の水溶性化合物	5,634	6,880	-1,246	0.82
63	キシレン	11,764	12,947	-1,183	0.91
26	石綿	3,168	4,159	-991	0.76
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	648	1,592	-943	0.41
230	鉛及びその化合物	7,427	8,308	-881	0.89
341	メチレンビス(4, 1 - シクロヘキシレン) = ジイソシアネート	13	652	-639	0.02
68	クロム及び三価クロム化合物	12,324	12,868	-544	0.96
40	エチルベンゼン	2,853	3,396	-543	0.84
.	.....	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..
.	.....	..	..	..	..
71	o - クロロアニリン	339	53	286	6.36
211	トリクロロエチレン	2,303	1,818	485	1.27
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,023	6,456	567	1.09
43	エチレングリコール	5,791	5,118	674	1.13
338	m - トリレンジイソシアネート	1,186	374	812	3.17
113	1, 4 - ジオキサン	3,252	2,381	871	1.37
232	ニッケル化合物	4,164	3,207	957	1.30
227	トルエン	46,946	45,456	1,491	1.03
16	2 - アミノエタノール	5,144	2,517	2,627	2.04
311	マンガン及びその化合物	24,697	19,161	5,536	1.29
	合計	217,493	216,388	1,104	1.01



## 移動量上位 10 物質

平成 14 年度の移動量上位 10 物質の前年度との比較を図 12 及び表 11 に示します。

届出移動量が多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると、9 物質は同じ物質ですが、3 番目のクロム及び三価クロム化合物以下においては若干の順位変動がみられます。

平成 14 年度の上位 10 物質の移動量の合計は 138 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 137 千トンに比べ 1.1 千トン (0.77%) 増加しています。これを物質別にみると、N, N - ジメチルホルムアミド (前年度比 1.8 千トン減) 塩化メチレン (同 1.6 千トン減) 亜鉛の水溶性化合物 (同 1.2 千トン減) 等が減少し、トルエン (前年度比 1.5 千トン増) マンガン及びその化合物 (同 5.5 千トン増) エチレングリコール (同 0.67 千トン増) 及びふっ化水素及びその水溶性塩 (同 0.57 千トン増) が増加しています。

図 12 平成 14 年度の届出移動量上位 10 物質の前年度との比較

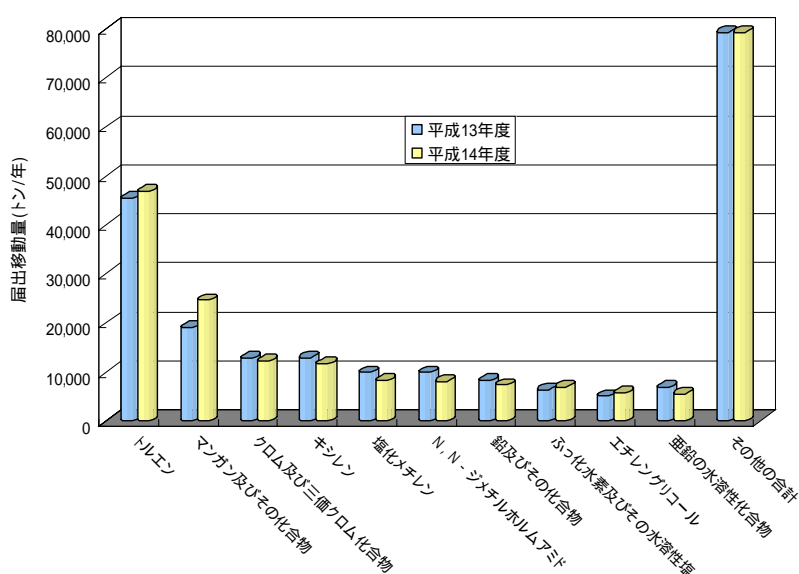


表 11 平成 14 年度の届出移動量上位 10 物質の前年度との比較

対象物質		届出移動量(トン/年)			
物質番号	物質名	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	46,946	45,456	1,491	1.03
311	マンガン及びその化合物	24,697	19,161	5,536	1.29
68	クロム及び三価クロム化合物	12,324	12,868	-544	0.96
63	キシレン	11,764	12,947	-1,183	0.91
145	塩化メチレン	8,374	9,966	-1,592	0.84
172	N, N - ジメチルホルムアミド	8,189	9,957	-1,768	0.82
230	鉛及びその化合物	7,427	8,308	-881	0.89
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,023	6,456	567	1.09
43	エチレングリコール	5,791	5,118	674	1.13
1	亜鉛の水溶性化合物	5,634	6,880	-1,246	0.82
上位10物質の合計		138,170	137,116	1,054	1.01
合計		217,493	216,388	1,104	1.01

## 事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質

平成 14 年度の廃棄物としての移動量上位 10 物質の前年度との比較を図 13 及び表 12 に示します。

廃棄物としての移動量が多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると、物質はほぼ同じで順序に入れ替わりがみられ、10 番目のエチレングリコールは前年度は 12 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の廃棄物としての移動量の合計は 137 千トンで、この 10 物質の前年度の合計 136 千トンに比べ 1.1 千トン (0.8%) 増加しています。これを物質別にみると、N, N - ジメチルホルムアミド (前年度比 1.8 千トン減)、塩化メチレン (同 1.6 千トン減)、亜鉛の水溶性化合物 (同 1.2 千トン減)、キシレン (同 1.2 千トン減) 等が減少し、マンガン及びその化合物 (前年度比 5.5 千トン増)、トルエン (同 1.5 千トン増) 等が増加しています。

図 13 平成 14 年度の事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質の前年度との比較

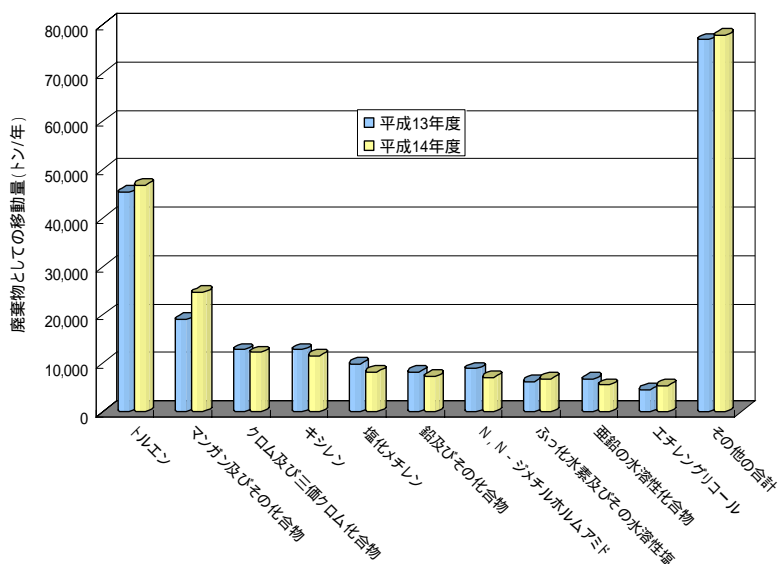


表 12 平成 14 年度の事業所外への廃棄物としての移動量上位 10 物質の前年度との比較

物質番号	対象物質 物質名	廃棄物としての移動量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
227	トルエン	46,906	45,391	1,516	1.03
311	マンガン及びその化合物	24,690	19,153	5,537	1.29
68	クロム及び三価クロム化合物	12,294	12,857	-563	0.96
63	キシレン	11,717	12,894	-1,178	0.91
145	塩化メチレン	8,366	9,965	-1,600	0.84
230	鉛及びその化合物	7,427	8,307	-880	0.89
172	N, N - ジメチルホルムアミド	7,241	9,003	-1,761	0.80
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,917	6,363	554	1.09
1	亜鉛の水溶性化合物	5,617	6,857	-1,240	0.82
43	エチレングリコール	5,484	4,729	755	1.16
上位10物質の合計		136,659	135,520	1,139	1.01
合計		214,498	212,415	2,083	1.01

## 下水道への移動量上位 10 物質

平成 14 年度の下水道への移動量上位 10 物質の前年度との比較を図 14 及び表 13 に示します。

下水道への移動量の多い上位 10 物質と前年度の上位 10 物質の構成を比較すると、2 番目以下の順位がかなり変動しています。2 番目のエチレングリコール、3 番目のポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル、4 番目のニトロベンゼンは前年度はそれぞれ 3 番目、6 番目、7 番目で、8 番目のホルムアルデヒド、9 番目の酸化プロピレンは前年度はそれぞれ 22 番目、15 番目でした。

平成 14 年度の上位 10 物質の下水道への移動量の合計は 2.2 千トンで、この物質の前年度の合計 2.6 千トンに比べ 0.45 千トン（17%）減少しています。これを物質別にみると、無水フタル酸（前年度比 0.28 千トン減）、2 - アミノエタノール（同 0.15 千トン減）、エチレングリコール（同 81 トン減）等が減少し、酸化プロピレン（前年度比 64 トン増）等が増加しています。

図 14 平成 14 年度の下水道への移動量上位 10 物質の前年度との比較

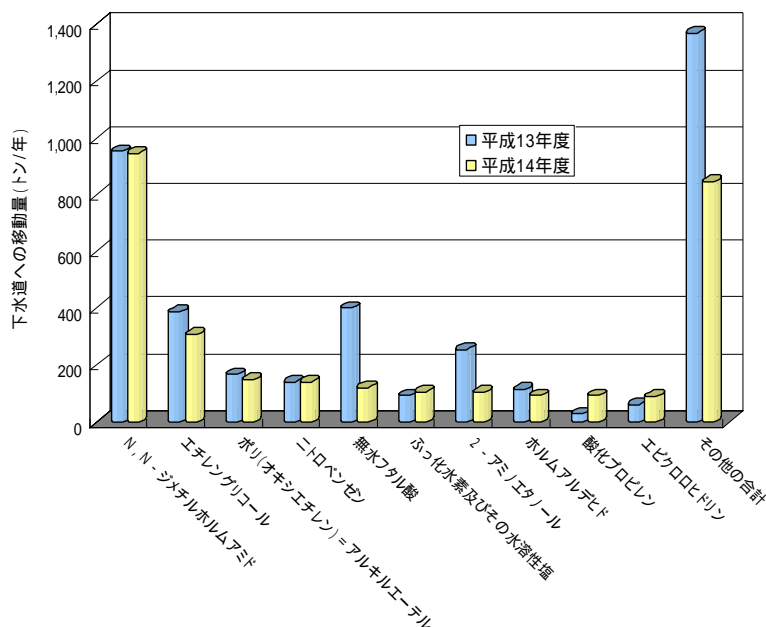


表 13 平成 14 年度の下水道への移動量上位 10 物質の前年度との比較

物質番号	対象物質 物質名	下水道への移動量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a)/(b)
172	N,N-ジメチルホルムアミド	948	955	-6.8	0.99
43	エチレングリコール	307	389	-81	0.79
307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	149	168	-19	0.89
240	ニトロベンゼン	140	140	-0.48	1.00
312	無水フタル酸	120	401	-280	0.30
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	106	93	13	1.14
16	2-アミノエタノール	105	256	-151	0.41
310	ホルムアルデヒド	93	114	-21	0.82
56	酸化プロピレン	92	28	64	3.29
54	エピクロロヒドリン	90	60	30	1.49
上位10物質の合計		2,150	2,603	-453	0.83
合計		2,995	3,973	-978	0.75

### 3. 業種別の届出排出量・移動量の前年度との比較

#### (1) 全業種の届出排出量・移動量の主な状況

平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の業種別比較を表 14 及び図 15 に示します。前年度に比べて届出排出・移動量は 21 千トン減少（前年度比 4.0%）しています。減少した業種数は 29 業種あり、1,000 トン以上の減少は 9 業種で、上位 5 業種は、化学工業（前年度比 6.2 千トン減）、プラスチック製品製造業（同 4.5 千トン減）、出版・印刷・同関連産業（同 3.8 千トン減）、窯業・土石製品製造業（同 3.4 千トン減）、輸送用機械器具製造業（同 3.2 千トン減）となっています。一方、増加した業種数は 16 業種あり、1,000 トン以上の増加は 4 業種で、上位 5 業種は、電気機械器具製造業（前年度比 4.6 千トン増）、鉄鋼業（同 1.8 千トン増）、金属鉱業（同 1.6 千トン増）、非鉄金属製造業（同 1.3 千トン増）、ゴム製品製造業（同 0.74 千トン増）となっています。

表 14 平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の業種別比較（減少量の多い順）

業種 コード	業種名	届出排出量・移動量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a) / (b)
2000	化学工業	128,267	134,448	-6,181	0.95
2200	プラスチック製品製造業	42,988	47,458	-4,470	0.91
1900	出版・印刷・同関連産業	27,844	31,600	-3,756	0.88
2500	窯業・土石製品製造業	17,366	20,736	-3,370	0.84
3100	輸送用機械器具製造業	60,538	63,718	-3,180	0.95
1400	繊維工業	10,333	13,237	-2,904	0.78
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	24,149	26,367	-2,218	0.92
2800	金属製品製造業	26,320	27,998	-1,678	0.94
1600	木材・木製品製造業	3,046	4,077	-1,031	0.75
2900	一般機械器具製造業	11,423	12,390	-967	0.92
8722	産業廃棄物処分業	713	1,163	-449	0.61
2100	石油製品・石炭製品製造業	3,040	3,433	-393	0.89
8716	一般廃棄物処理業	284	664	-379	0.43
3830	下水道業	4,403	4,690	-287	0.94
700	原油・天然ガス鉱業	490	762	-272	0.64
1700	家具・装備品製造業	1,984	2,193	-208	0.90
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	714	917	-203	0.78
4400	倉庫業	827	1,010	-183	0.82
1200	食料品製造業	828	926	-98	0.89
3200	精密機械器具製造業	2,433	2,525	-92	0.96
3500	電気業	282	370	-88	0.76
7210	洗濯業	997	1,075	-78	0.93
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	10	48	-38	0.21
7810	機械修理業	122	148	-26	0.82
7430	写真業	12	19	-6.7	0.65
3700	熱供給業	6.8	13	-6.6	0.51
5142	鉄スクラップ卸売業	33	35	-2.3	0.93
8620	商品検査業	19	20	-0.9	0.95
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	631	632	-0.5	1.00
3900	鉄道業	238	236	1.8	1.01
9140	高等教育機関	95	88	6.3	1.07
8630	計量証明業	45	37	7.9	1.22
3300	武器製造業	43	31	13	1.41
5220	自動車卸売業	76	52	24	1.47
3600	ガス業	63	37	26	1.71
5132	石油卸売業	487	460	27	1.06
9210	自然科学研究所	360	242	119	1.49
7700	自動車整備業	691	431	261	1.61
3400	その他の製造業	14,333	13,947	386	1.03
5930	燃料小売業	1,766	1,355	411	1.30
2300	ゴム製品製造業	14,927	14,188	739	1.05
2700	非鉄金属製造業	22,432	21,137	1,296	1.06
500	金属鉱業	7,155	5,566	1,589	1.29
2600	鉄鋼業	41,005	39,178	1,827	1.05
3000	電気機械器具製造業	34,126	29,530	4,596	1.16
	合計	507,946	529,186	-21,240	0.96

平成 14 年度及び前年度の届出排出量と届出移動量の業種別比較を表 15、表 16 に示します。

表 15 平成 14 年度及び前年度の届出排出量の業種別比較

業種 コード	業種名	届出排出量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a) / (b)
500	金属鉱業	7,148	5,561	1,587	1.29
700	原油・天然ガス鉱業	490	762	-273	0.64
1200	食料品製造業	363	383	-20	0.95
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	3.9	3.3	0.64	1.19
1400	繊維工業	6,690	7,797	-1,107	0.86
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	183	284	-101	0.64
1600	木材・木製品製造業	2,797	3,497	-701	0.80
1700	家具・装備品製造業	1,576	1,794	-219	0.88
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	21,460	23,832	-2,371	0.90
1900	出版・印刷・同関連産業	21,549	25,225	-3,676	0.85
2000	化学工業	38,638	42,399	-3,761	0.91
2100	石油製品・石炭製品製造業	1,174	1,408	-234	0.83
2200	プラスチック製品製造業	31,243	36,272	-5,029	0.86
2300	ゴム製品製造業	12,651	11,811	840	1.07
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	489	489	-0.65	1.00
2500	窯業・土石製品製造業	9,289	10,999	-1,709	0.84
2600	鉄鋼業	7,193	9,437	-2,244	0.76
2700	非鉄金属製造業	16,331	15,059	1,272	1.08
2800	金属製品製造業	18,212	19,328	-1,116	0.94
2900	一般機械器具製造業	8,520	9,224	-704	0.92
3000	電気機械器具製造業	10,352	11,266	-913	0.92
3100	輸送用機械器具製造業	52,831	55,285	-2,454	0.96
3200	精密機械器具製造業	1,645	1,694	-49	0.97
3300	武器製造業	35	23	12	1.52
3400	その他の製造業	11,003	10,459	545	1.05
3500	電気業	134	148	-14	0.91
3600	ガス業	15	26	-10.7	0.59
3700	熱供給業	5.6	13	-7.8	0.42
3830	下水道業	4,343	4,442	-99	0.98
3900	鉄道業	108	95	13	1.14
4400	倉庫業	735	932	-196	0.79
5132	石油卸売業	406	437	-31	0.93
5142	鉄スクラップ卸売業	6.5	20	-14	0.33
5220	自動車卸売業	4.4	5.5	-1.1	0.80
5930	燃料小売業	1,760	1,333	426	1.32
7210	洗濯業	421	470	-50	0.89
7430	写真業	10	17	-7.6	0.56
7700	自動車整備業	130	134	-4.0	0.97
7810	機械修理業	70	76	-5.6	0.93
8620	商品検査業	11	12	-0.44	0.96
8630	計量証明業	4.2	6.1	-1.9	0.69
8716	一般廃棄物処理業	73	42	31	1.76
8722	産業廃棄物処分業	265	223	42	1.19
9140	高等教育機関	22	26	-3.6	0.86
9210	自然科学研究所	63	48	14	1.29
	合計	290,453	312,798	-22,344	0.93

表 16 平成 14 年度及び前年度の届出移動量の業種別比較

業種 コード	業種名	届出移動量(トン/年)			
		平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a) / (b)
500	金属鉱業	7.1	5.3	1.9	1.35
700	原油・天然ガス鉱業	0.15	0	0.15	-
1200	食料品製造業	465	543	-78	0.86
1300	飲料・たばこ・飼料製造業	6.4	45	-39	0.14
1400	繊維工業	3,643	5,439	-1,797	0.67
1500	衣服・その他の繊維製品製造業	532	634	-102	0.84
1600	木材・木製品製造業	250	580	-330	0.43
1700	家具・装備品製造業	409	398	10	1.03
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	2,689	2,535	154	1.06
1900	出版・印刷・同関連産業	6,295	6,375	-79	0.99
2000	化学工業	89,629	92,049	-2,420	0.97
2100	石油製品・石炭製品製造業	1,866	2,026	-159	0.92
2200	プラスチック製品製造業	11,745	11,186	559	1.05
2300	ゴム製品製造業	2,276	2,377	-101	0.96
2400	なめし革・同製品・毛皮製造業	143	142	0.14	1.00
2500	窯業・土石製品製造業	8,076	9,737	-1,661	0.83
2600	鉄鋼業	33,812	29,741	4,071	1.14
2700	非鉄金属製造業	6,101	6,078	24	1.00
2800	金属製品製造業	8,108	8,670	-562	0.94
2900	一般機械器具製造業	2,902	3,165	-263	0.92
3000	電気機械器具製造業	23,773	18,264	5,509	1.30
3100	輸送用機械器具製造業	7,707	8,433	-726	0.91
3200	精密機械器具製造業	788	830	-43	0.95
3300	武器製造業	8.0	7.5	0.44	1.06
3400	その他の製造業	3,330	3,488	-158.6	0.95
3500	電気業	147.5	222	-74.7	0.66
3600	ガス業	47	11	36.7	4.43
3700	熱供給業	1.2	0	1.2	-
3830	下水道業	60	248	-188.3	0.24
3900	鉄道業	130	141	-11.3	0.92
4400	倉庫業	92	79	13.3	1.17
5132	石油卸売業	81	23	57.9	3.50
5142	鉄スクラップ卸売業	26	15	11	1.75
5220	自動車卸売業	72	47	25	1.55
5930	燃料小売業	6.1	22	-16	0.28
7210	洗濯業	576	605	-28	0.95
7430	写真業	2.5	1.6	0.90	1.56
7700	自動車整備業	561	296	265	1.89
7810	機械修理業	52	72	-21	0.71
8620	商品検査業	8.0	8.5	-0.50	0.94
8630	計量証明業	40	31	10	1.32
8716	一般廃棄物処理業	211	622	-411	0.34
8722	産業廃棄物処分業	448	939	-491	0.48
9140	高等教育機関	72	62	10	1.16
9210	自然科学研究所	298	193	104	1.54
	合計	217,493	216,388	1,104	1.01

図 15 平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の業種別比較

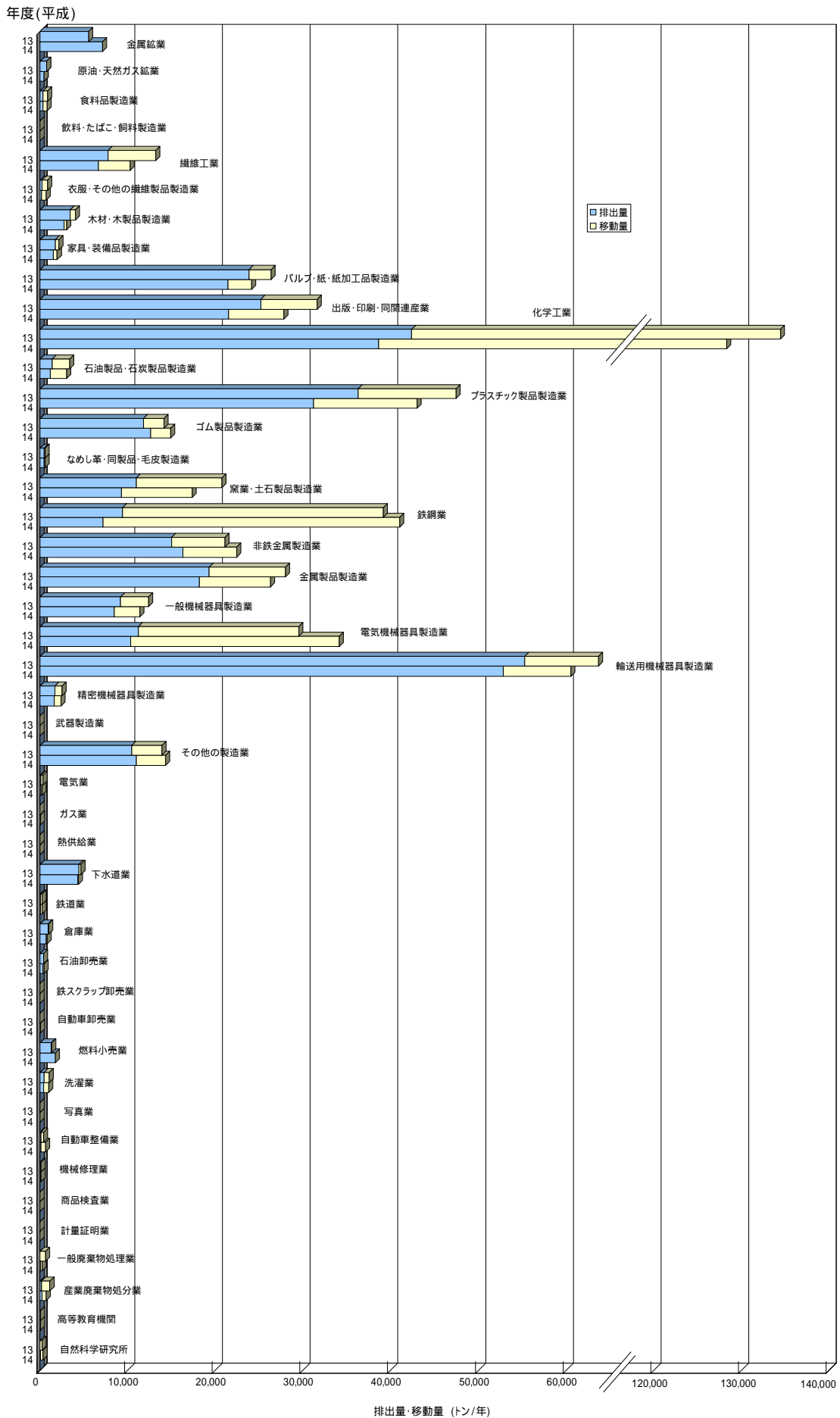
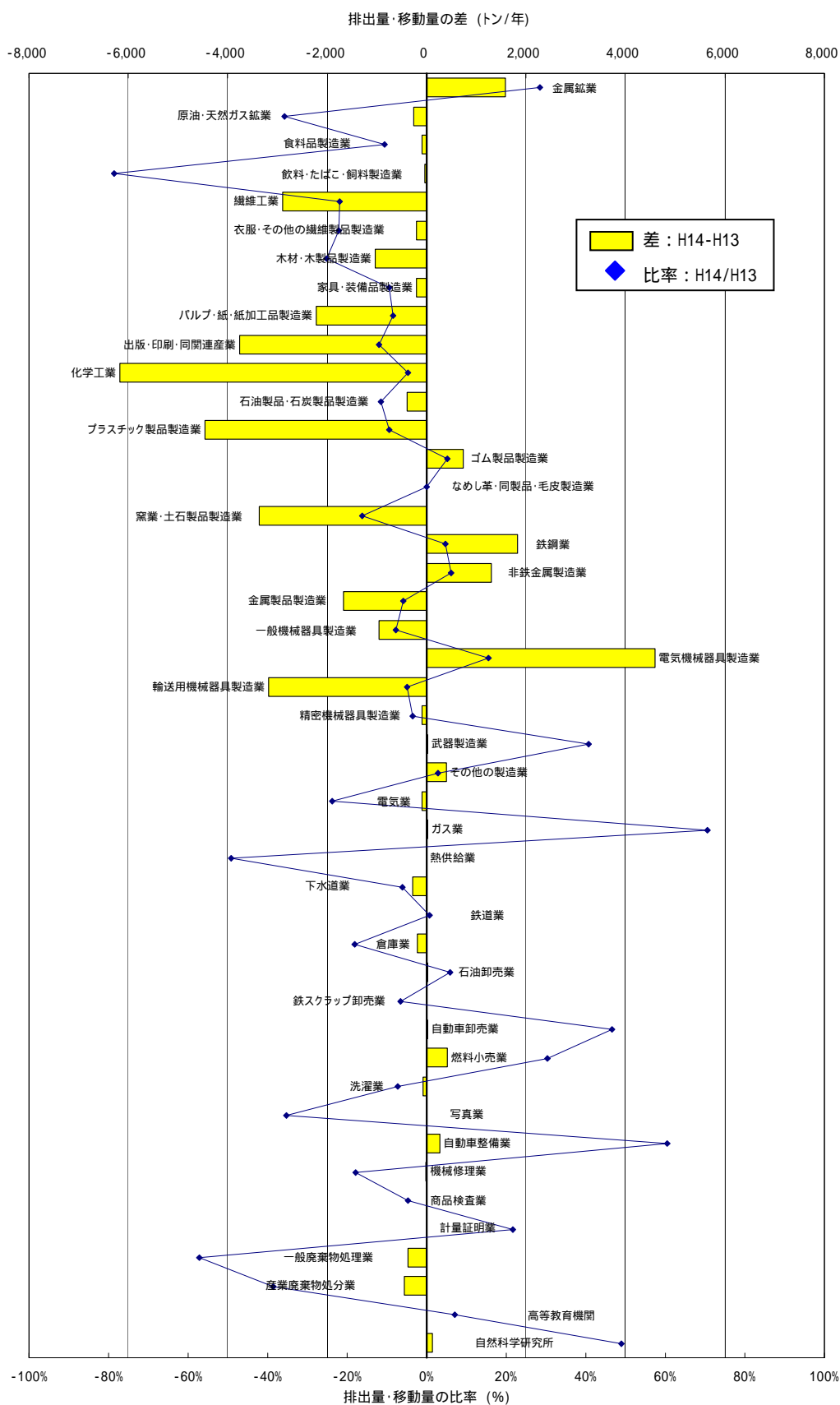


図 16 平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の業種別比較(排出量・移動量の差及び比率)





## (2)業種別の届出排出量・移動量

### 1)金属鉱業の届出排出量・移動量

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1,589 トン (29%) 増加しています。その主な内容は、砒素及びその無機化合物(前年度比 1,202 トン増)、鉛及びその化合物(同 250 トン増)の増加です。

なお、両物質は共に主に埋立処分量において増加しています。

### 2)原油・天然ガス鉱業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 272 トン(36%)減少しています。その主な内訳は、ベンゼン(前年度比 133 トン減)、トルエン(同 82 トン減)、キシレン(同 31 トン減)等の減少です。

なお、上記 3 物質は主に大気への排出量において減少しています。

### 3)製造業

#### a. 食料品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 98 トン (11%) 減少しています。その主な内訳は、N, N - ジメチルホルムアミド(前年度比 40 トン減)、トルエン(同 26 トン減)、アセトニトリル(同 19 トン減)等の減少です。

なお、N, N - ジメチルホルムアミドは主に廃棄物としての移動量において減少しています。

#### b. 飲料・たばこ・飼料製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 38 トン (79%) 減少しています。その内訳は、エチレンジアミン四酢酸(前年度比 32 トン減)、マンガン及びその化合物(同 5.5 トン減)の届出移動量の減少です。

なお、エチレンジアミン四酢酸は下水道への移動量において減少し、マンガン及びその化合物は廃棄物としての移動量において減少しています。

#### c. 繊維工業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 2,904 トン (22%) 減少しています。その主な内訳は、N, N - ジメチルホルムアミド(前年度比 1,009 トン減)、トルエン(同 366 トン減)、二硫化炭素の大気への排出(同 730 トン減)、エチレングリコールの公共用水域への排出(同 960 トン減)等の減少です。

なお、N, N - ジメチルホルムアミドは主に廃棄物としての移動量において減少、トルエン及び二硫化炭素は主に大気への排出量において減少、エチレングリコールは主に公共用水域への排出量において減少しています。

#### d. 衣服・その他の繊維製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 203 トン (22%) 減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン(前年度比 161 トン減)、トルエン(同 46 トン減)等の減少と、フタル酸ビス(2 - エチルヘキシル)(前年度比 18 トン増)等の増加です。

なお、塩化メチレン及びトルエンは大気への排出量及び廃棄物としての移動量において減少、フタル酸ビス(2 - エチルヘキシル)は廃棄物としての移動量において増加してい

ます。

e . 木材・木製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1,031 トン(25%)減少しています。その主な内訳は、塗料溶剤成分等が想定されるトルエン(前年度比 749 トン減) キシレン(同 373 トン減) スチレン(同 121 トン減)等の減少と、塩化メチレン(前年度比 374 トン増)等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

f . 家具・装備品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 208 トン(9.5%)減少しています。その主な内訳は、塗料溶剤成分等が想定されるトルエン(前年度比 191 トン減) スチレン(同 23 トン減)等の減少と、エチルベンゼン(前年度比 15 トン増)等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

g . パルプ・紙・紙加工品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 2,218 トン(8.4%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(前年度比 1,985 トン減) 二硫化炭素(同 486 トン減) ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル(同 138 トン減) クロロホルム(同 28 トン減)等の減少と、六価クロム化合物の移動(前年度比 280 トン増) フタル酸ビス(2 - エチルヘキシル)(同 148 トン増)等の増加です。

なお、トルエン、二硫化炭素及びクロロホルムは主に大気への排出量において減少しています。

h . 出版・印刷・同関連産業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 3,756 トン(12%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(前年度比 3,154 トン減) キシレン(同 319 トン減) エチルベンゼン(同 65 トン減)等の減少です。

なお、トルエンは主に大気への排出量において減少しています。

i . 化学工業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 6,181 トン(4.6%)減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン(前年度比 2,255 トン減) 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(同 984 トン減) N, N - ジメチルホルムアミド(同 725 トン減) エチルベンゼン(同 532 トン減) 1, 2 - ジクロロエタン(同 503 トン減) キシレン(同 499 トン減) 銅水溶性塩(同 490 トン減)等の減少と、マンガン及びその化合物(前年度比 1,263 トン増) 1, 4 - ジオキサン(同 973 トン増) トルエン(同 761 トン増) エチレングリコール(同 810 トン増) クロロエタン(同 334 トン増) o クロロアニリン(同 286 トン増)、テレフタル酸(同 264 トン増)等の増加です。

なお、塩化メチレンの減少のうち 1,277 トンが大気への排出量における減少、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、マンガン及びその化合物は主に廃棄物としての移動量において増減しています。

j . 石油製品・石炭製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 393 トン ( 11% ) 減少しています。その主な内訳は、キシレン ( 前年度比 216 トン減 )、モリブデン及びその化合物 ( 同 166 トン減 )、エチルベンゼン ( 同 67 トン減 )、ベンゼン ( 同 52 トン減 )、ニッケル化合物 ( 同 35 トン減 )、エチレングリコール ( 同 33 トン減 )、トルエン ( 同 28 トン減 ) 等の減少と、ニッケル ( 前年度比 42 トン増 )、五酸化バナジウム ( 同 41 トン増 )、亜鉛の水溶性化合物 ( 同 40 トン増 ) 等の増加です。

なお、モリブデン及びその化合物、ニッケル、五酸化バナジウム及び亜鉛の水溶性化合物は主に廃棄物としての移動量において増減しています。

k . プラスチック製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 4,470 トン ( 9.4% ) 減少しています。その主な内訳は、トルエン ( 前年度比 2,020 トン減 )、N,N - ジメチルホルムアミド ( 同 904 トン減 )、キシレン ( 同 514 トン減 )、H C F C - 1 4 2 b ( 同 497 トン減 )、クロロエタン ( 同 346 トン減 )、スチレン ( 同 304 トン減 ) 等の減少と、m - トリレンジイソシアネート ( 前年度比 680 トン増 )、トリクロロエチレン ( 同 665 トン増 )、エチレングリコールモノメチルエーテル ( 同 334 トン増 ) 等の増加です。

なお、トルエン及び N,N - ジメチルホルムアミドは主に大気への排出量において減少、m - トリレンジイソシアネート及びトリクロロエチレンは主に廃棄物としての移動量において増加しています。

l . ゴム製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 739 トン ( 5.2% ) 増加しています。その主な内訳は、フタル酸ビス ( 2 - エチルヘキシル ) ( 前年度比 131 トン減 )、スチレン ( 同 22 トン減 ) 等の減少と、トルエン ( 前年度比 307 トン増 )、塩化メチレン ( 同 250 トン増 )、キシレン ( 同 142 トン増 )、N,N - ジメチルホルムアミド ( 同 80 トン増 ) 等の増加です。

なお、トルエンは大気への排出量においての増加と廃棄物としての移動量においての減少、フタル酸ビス ( 2 - エチルヘキシル ) は主に廃棄物としての移動量において減少しています。

m . なめし革・同製品・毛皮製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 0.5 トン ( 0.08% ) の減少です。その主な内訳は、テトラクロロエチレン ( 前年度比 58 トン減 ) 等の減少と、六価クロム化合物の届出が本年度はなかったこと、塩化メチレン ( 前年度比 22 トン増 )、エチレングリコールモノエチルエーテル ( 同 19 トン増 )、トルエン ( 同 9.7 トン増 ) 等の増加です。

なお、テトラクロロエチレンの減少量のうち、55 トンが大気への排出量の減少です。

n . 窯業・土石製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 3,370 トン ( 16% ) 減少しています。その主な内訳は、トルエン ( 前年度比 811 トン減 )、石綿 ( 同 842 トン減 )、鉛及びその化合物 ( 同 639 トン減 )、キシレン ( 同 297 トン減 )、ほう素及びその化合物 ( 同 162 トン減 ) 等の減少と、ふっ化水素及びその水溶性塩 ( 前年度比 242 トン増 ) 等の増加です。

なお、トルエン及びキシレンは大気への排出量において減少、石綿、鉛及びその化合物、

ほう素及びその化合物、ふっ化水素及びその水溶性塩は主に廃棄物としての移動量において増減しています。

o . 鉄鋼業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1,827 トン(4.7%)増加しています。その主な内訳は、キシレン(前年度比 570 トン減) ふっ化水素及びその水溶性塩(同 476 トン減) トルエン(同 387 トン減) ニッケル(同 186 トン減) クロム及び三価クロム化合物(同 178 トン減)等の減少と、高張力鋼等の合金に使用されるマンガン及びその化合物(前年度比 3,715 トン増) ニッケル化合物(同 159 トン増)等の増加です。

なお、キシレン、トルエンは大気への排出量において減少、ふっ化水素及びその水溶性塩は公共用水域への排出量及び埋立処分量において減少、ニッケル、クロム及び三価クロム化合物、マンガン及びその化合物、ニッケル化合物は主に廃棄物としての移動量において増減しています。

p . 非鉄金属製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1,296 トン(6.1%)増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン(前年度比 301 トン減) キシレン(同 292 トン減)等の減少と、アンチモン及びその化合物(前年度比 1,223 トン増) 鉛及びその化合物(同 206 トン増) マンガン及びその化合物(同 203 トン増)等の増加です。

なお、塩化メチレン、キシレンは大気への排出量において減少、アンチモン及びその化合物、鉛及びその化合物、マンガン及びその化合物は主に埋立処分量において増加しています。

q . 金属製品製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1,678 トン(6.0%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(前年度比 780 トン減) トルエン(同 512 トン減) 亜鉛の水溶性化合物(同 465 トン減) トリクロロエチレン(同 233 トン減) クロム及び三価クロム化合物(同 144 トン減)等の減少と、エチルベンゼン(前年度比 132 トン増) ニッケル化合物(同 125 トン増) 塩化メチレン(同 115 トン増)等の増加です。

なお、キシレン、トルエン、トリクロロエチレン、エチルベンゼン、塩化メチレンは大気への排出量において増減、亜鉛の水溶性化合物、クロム及び三価クロム化合物、ニッケル化合物は主に廃棄物としての移動量において増減しています。

r . 一般機械器具製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 967 トン(7.8%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(前年度比 305 トン減) クロム及び三価クロム化合物(同 288 トン減) 塩化メチレン(同 146 トン減) トリクロロエチレン(同 99 トン減)等の減少です。

なお、キシレン、塩化メチレン、トリクロロエチレンは大気への排出量において減少、クロム及び三価クロム化合物は埋立処分量、廃棄物としての移動量などにおいて減少しています。

s . 電気機械器具製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 4,596 トン(16%)増加しています。

その主な内訳は、塩化メチレン(前年度比 409 トン減)、N,N-ジメチルホルムアミド(同 351 トン減)等の減少と、2-アミノエタノール(前年度比 2,773 トン増)の大きな増加に加え、ニッケル化合物(同 846 トン増)、銅水溶性塩(同 388 トン増)、エチレングリコール(同 265 トン増)、キシレン(同 256 トン増)、トルエン(同 202 トン増)等の増加です。

なお、塩化メチレン、N,N-ジメチルホルムアミドは大気への排出量において減少、2-アミノエタノール、ニッケル化合物、銅水溶性塩、エチレングリコール、トルエンは主に廃棄物としての移動量において増加しています。

#### t. 輸送用機械器具製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 3,180 トン(5.0%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(前年度比 2,522 トン減)、塩化メチレン(同 398 トン減)、トルエン(同 364 トン減)等の減少と、エチルベンゼン(前年度比 538 トン増)、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂(同 130 トン増)等の増加です。

なお、キシレン、塩化メチレン、トルエン、エチルベンゼンは大気への排出量において増減、ビスフェノール A 型エポキシ樹脂は主に廃棄物としての移動量において増加しています。

#### u. 精密機械器具製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 92 トン(3.6%)減少しています。その主な内訳は、塩化メチレン(前年度比 140 トン減)、テトラクロロエチレン(同 43 トン減)等の減少と、トリクロロエチレン(前年度比 62 トン増)、トルエン(同 44 トン増)等の増加です。

なお、トリクロロエチレンは大気への排出量において増加、塩化メチレン、テトラクロロエチレン、トルエンは大気への排出量、廃棄物としての移動量等において増減しています。

#### v. 武器製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 13 トン(41%)増加しています。その主な内訳は、フタル酸ジ-n-ブチル(前年度比 5.2 トン減)等の減少と、トリクロロエチレン(前年度比 8.2 トン増)、塩化メチレン(同 5.5 トン増)等の増加です。

なお、フタル酸ジ-n-ブチルは廃棄物としての移動量において減少、トリクロロエチレン、塩化メチレンは主に大気への排出量において増加しています。

#### w. その他の製造業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 386 トン(2.8%)増加しています。その主な内訳はクロロホルム(前年度比 297 トン減)、キシレン(同 163 トン減)、銅水溶性塩(同 160 トン減)、エチレングリコール(同 90 トン減)、スチレン(同 87 トン減)等の減少と、トルエン(前年度比 1,016 トン増)等の増加です。

なお、クロロホルム、銅水溶性塩、エチレングリコール、スチレンは廃棄物としての移動量において減少、キシレンは大気への排出量において減少、トルエンは大気への排出量、廃棄物としての移動量等において増加しています。

#### 4)電気業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 88 トン（24%）減少しています。その主な内訳は、ふっ化水素及びその水溶性塩（前年度比 46 トン減）、石綿（同 18 トン減）、2 - アミノエタノール（同 17 トン減）、五酸化バナジウム（同 17 トン減）等の減少です。

なお、これらの物質はいずれも廃棄物としての移動量において減少しています。

#### 5)ガス業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 26 トン（71%）増加しています。その主な内訳は、H C F C - 2 2（前年度比 6.1 トン減）、ハロン - 1 3 0 1（同 4.5 トン減）等の減少と、エチレングリコール（前年度比 40 トン増）の増加です。

なお、ハロン - 1 3 0 1、H C F C - 2 2 は大気への排出量において減少、エチレングリコールは主に廃棄物としての移動量において増加しています。

#### 6)熱供給業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 6.6 トン（49%）減少しています。エチレングリコール（前年度比 6.6 トン減）等に減少がみられ、大気への排出量が減少しています。

#### 7)下水道業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 287 トン（6.1%）減少しています。その主な内訳は、ふっ化水素及びその水溶性塩（前年度比 162 トン減）、鉛及びその化合物（同 74 トン減）、クロム及び三価クロム化合物（同 73 トン減）、マンガン及びその化合物（同 62 トン減）、亜鉛の水溶性化合物（同 54 トン減）等の減少と、ほう素及びその化合物（前年度比 246 トン増）等の増加です。

なお、鉛及びその化合物、クロム及び三価クロム化合物は廃棄物としての移動量において減少、ふっ化水素及びその水溶性塩、マンガン及びその化合物、亜鉛の水溶性化合物、ほう素及びその化合物は主に公共用水域への排出量において増減しています。

#### 8)鉄道業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1.8 トン（0.76%）増加しています。その主な内訳は、エチレングリコール（前年度比 21 トン減）、塩化メチレン（同 6.7 トン減）等の減少と、スチレン（前年度比 10 トン増）、トルエン（同 8.1 トン増）、キシレン（同 5.8 トン増）、H C F C - 1 4 1 b（同 5.4 トン増）等の増加です。

なお、エチレングリコール、塩化メチレン、キシレン、H C F C - 1 4 1 b は廃棄物としての移動量において増減、スチレン、トルエンは主に大気への排出量において増加しています。

#### 9)倉庫業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 183 トン（18%）減少しています。その主な内訳はアクリル酸（前年度比 81 トン減）、アクリロニトリル（同 60 トン減）、エチレングリコールモノメチルエーテル（同 54 トン減）、1, 2 - ジクロロエタン（同 40 トン減）等の減少と、トルエン（前年度比 33 トン増）、臭化メチル（同 32 トン増）等の増加です。

なお、これらの物質は大気への排出量において増減しています。

#### 10)石油卸売業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 27 トン（5.9%）増加しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 14 トン減）、トルエン（同 8.5 トン減）等の減少と、エチレングリコール（前年度比 58 トン増）の増加です。

なお、キシレン、トルエンは大気への排出量において減少、エチレングリコールは廃棄物としての移動量において増加しています。

#### 11)鉄スクラップ卸売業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 2.3 トン（6.6%）減少しています。その主な内容は、エチレングリコール（前年度比 2.3 トン減）の減少によるものです。

なお、エチレングリコールは公共用水域への排出量が減少し、廃棄物としての移動量が増加しています。

#### 12)自動車卸売業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 24 トン（47%）増加しています。この主な内容は廃棄物としての移動量が増加したエチレングリコール（前年度比 26 トン増）によるものです。

#### 13)燃料小売業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 411 トン（30%）増加しています。その主な内訳は、エチレングリコール（前年度比 157 トン増）、トルエン（同 142 トン増）、キシレン（同 83 トン増）の増加です。

なお、エチレングリコールは公共用水域への排出量及び土壌への排出量において増加、トルエン、キシレンは主に大気への排出量において増加しています。

#### 14)洗濯業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 78 トン（7.3%）減少しています。その主な内訳は、テトラクロロエチレン（前年度比 57 トン減）、ポリ（オキシエチレン）= ノニルフェニルエーテル（同 33 トン減）及びフタル酸ビス（2 - エチルヘキシル）（同 27 トン減）の減少と、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（前年度比 31 トン増）の増加です。

なお、テトラクロロエチレンは大気への排出量において減少、ポリ（オキシエチレン）= ノニルフェニルエーテルは下水道への移動量において減少、フタル酸ビス（2 - エチルヘキシル）は廃棄物としての移動量において減少、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は主に廃棄物としての移動量において増加しています。

#### 15)写真業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 6.7 トン（35%）減少しています。これはテトラクロロエチレン（前年度比 6.7 トン減）の大気への排出量の減少によるものです。

#### 16)自動車整備業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 261 トン（60%）増加しています。これは主にエチレングリコール（前年度比 255 トン増）の廃棄物としての移動量の増加によるものです。

#### 17)機械修理業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 26 トン（18%）減少しています。その主な内訳は、エチレングリコール（前年度比 23 トン減）、H C F C - 2 2（同 14 トン減）及びトリクロロエチレン（同 14 トン減）の減少と、マンガン及びその化合物（前年度比 11 トン増）の増加です。

なお、エチレングリコールは下水道への移動量において減少、H C F C - 2 2 は廃棄物としての移動量において減少、トリクロロエチレンは大気への排出量において減少、マンガン及びその化合物は主に廃棄物としての移動量において増加しています。

#### 18)商品検査業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 0.9 トン（4.5%）減少しています。その主な内訳は、テトラクロロエチレン（前年度比 0.4 トン減）及びキシレン（同 0.4 トン減）の減少です。

なお、テトラクロロエチレンは廃棄物としての移動量において減少、キシレンは主に大気への排出量において減少しています。

#### 19)計量証明業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 7.9 トン（22%）増加しています。これは主にトルエン（前年度比 9.4 トン増）の廃棄物としての移動量の増加によるものです。

#### 20)一般廃棄物処理業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 379 トン（57%）減少しています。その主な内訳は、亜鉛の水溶液（前年度比 156 トン減）、銅水溶性塩（同 127 トン減）、鉛及びその化合物（同 79 トン減）、H C F C - 2 2（同 32 トン減）の減少と、ほう素及びその化合物（前年度比 22 トン増）の増加です。

なお、亜鉛の水溶性化合物、銅水溶性塩、鉛及びその化合物、H C F C - 2 2 は廃棄物としての移動量において減少、ほう素及びその化合物は主に公共用水域への排出量において増加しています。

また、ダイオキシン類については平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 1.5kg-TEQ（27%）減少しており、これは全業種の減少量の 89%に相当します。なお、ダイオキシン類の排出・移動量の全業種合計値に対する割合は前年度とほぼ同等の 87%です。

#### 21)産業廃棄物処分業

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 449 トン（39%）減少しています。その主な内訳は、エチレングリコール（前年度比 236 トン減）、亜鉛の水溶性化合物（同 142 トン減）、鉛及びその化合物（同 110 トン減）、2 - アミノエタノール（同 65 トン減）の減少と、ふっ化水素及びその水溶性塩（前年度比 130 トン増）、H C F C - 2 2（同 79 トン増）、ほう素及びその化合物（同 50 トン増）の増加です。

なお、エチレングリコール、亜鉛の水溶性化合物、鉛及びその化合物、2 - アミノエタノール、ふっ化水素及びその水溶性塩、H C F C - 2 2 は廃棄物としての移動量において増減、ほう素及びその化合物は主に公共用水域への排出量において増加しています。

また、ダイオキシン類については平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 84g-TEQ（22%）減少しています。



## 22) 高等教育機関

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 6.3 トン (7.1%) 増加しています。その主な内訳は、ホルムアルデヒド (前年度比 6.6 トン減) の減少と、クロロホルム (前年度比 13 トン増)、エチレンオキシド (同 2.2 トン増) の増加です。

なお、ホルムアルデヒド、クロロホルムは廃棄物としての移動量において増減、エチレンオキシドは主に下水道への移動において増加しています。

## 23) 自然科学研究所

平成 14 年度の届出排出量・移動量は前年度に比べ 119 トン (49%) 増加しています。その主な内訳は、アセトニトリル (前年度比 53 トン増)、キシレン (同 24 トン増)、クロロホルム (同 19 トン増) 等の増加によるものです。いずれの物質も主に廃棄物としての移動量が増加しています。

#### 4. 都道府県別の届出排出量・移動量の前年度との比較

##### (1) 全都道府県の届出排出量・移動量の主な状況

平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の都道府県別推移を表 17 及び図 17-1 から図 17-3 に示します。前年度に比べて全体の約 68% に当たる 32 の都府県で届出排出・移動量は減少しています。減少した上位 5 府県は、愛知県 (6.6 千トン)、大阪府 (3.5 千トン)、京都府 (2.5 千トン)、茨城県 (2.3 千トン)、群馬県 (2.2 千トン) です。逆に増加した上位 5 道県は、岡山県 (6.4 千トン)、千葉県 (4.3 千トン)、秋田県 (1.5 千トン)、山口県 (1.1 千トン)、北海道 (1.1 千トン) です。

図 17-1

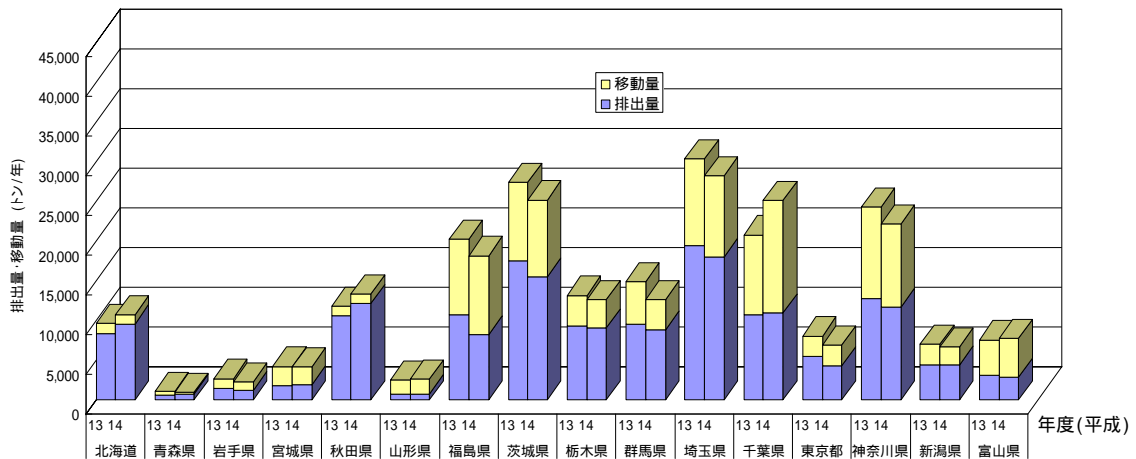


図 17-2

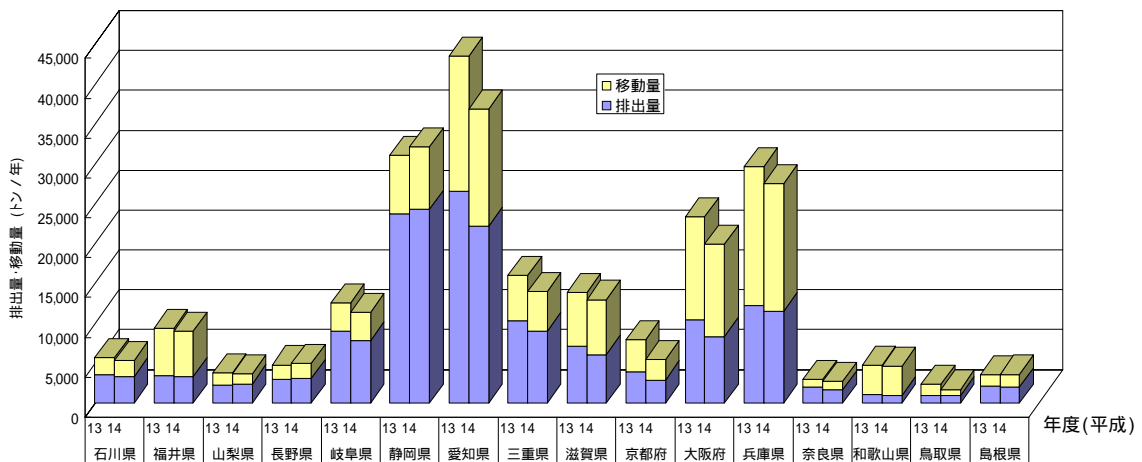


図 17-3

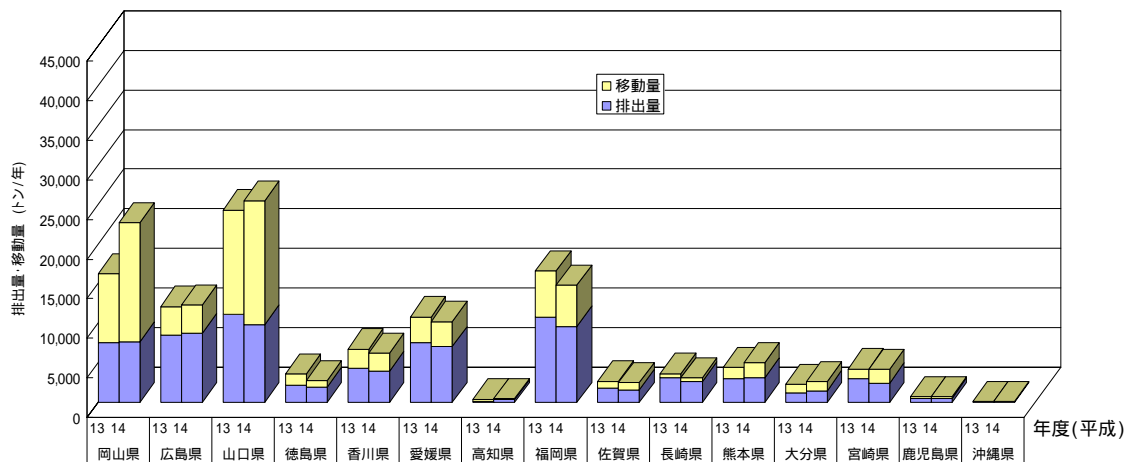


表 17 平成 14 年度及び前年度の届出排出量・移動量の都道府県別推移

都道府県	届出排出量・移動量(トン/年)			
	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a) / (b)
北海道	10,708	9,645	1,062	1.11
青森県	1,003	1,143	-140	0.88
岩手県	2,287	2,714	-427	0.84
宮城県	4,180	4,262	-82	0.98
秋田県	13,314	11,854	1,460	1.12
山形県	2,648	2,536	112	1.04
福島県	18,169	20,277	-2,108	0.90
茨城県	25,167	27,418	-2,251	0.92
栃木県	12,620	13,179	-560	0.96
群馬県	12,644	14,850	-2,207	0.85
埼玉県	28,163	30,356	-2,193	0.93
千葉県	25,082	20,779	4,302	1.21
東京都	6,896	8,053	-1,158	0.86
神奈川県	22,179	24,237	-2,058	0.92
新潟県	6,715	7,056	-341	0.95
富山県	7,741	7,594	147	1.02
石川県	5,318	5,657	-340	0.94
福井県	9,017	9,353	-336	0.96
山梨県	3,686	3,719	-32	0.99
長野県	4,978	4,773	205	1.04
岐阜県	11,329	12,506	-1,177	0.91
静岡県	32,084	31,041	1,043	1.03
愛知県	36,863	43,478	-6,615	0.85
三重県	13,969	15,949	-1,980	0.88
滋賀県	12,946	13,823	-877	0.94
京都府	5,451	7,943	-2,492	0.69
大阪府	19,906	23,358	-3,452	0.85
兵庫県	27,461	29,603	-2,142	0.93
奈良県	2,652	2,936	-284	0.90
和歌山県	4,632	4,704	-72	0.98
鳥取県	1,684	2,300	-616	0.73
島根県	3,577	3,542	35	1.01
岡山県	22,651	16,241	6,410	1.39
広島県	12,292	12,086	205	1.02
山口県	25,396	24,291	1,105	1.05
徳島県	2,752	3,554	-802	0.77
香川県	6,202	6,747	-546	0.92
愛媛県	10,193	10,806	-613	0.94
高知県	436	404	32	1.08
福岡県	14,808	16,559	-1,751	0.89
佐賀県	2,476	2,651	-176	0.93
長崎県	3,102	3,610	-508	0.86
熊本県	4,984	4,363	621	1.14
大分県	2,616	2,242	373	1.17
宮崎県	4,176	4,200	-24	0.99
鹿児島県	695	687	7.3	1.01
沖縄県	99	103	-4.1	0.96
合計	507,946	529,186	-21,240	0.96

(2) 全都道府県の届出排出量の主な状況

平成 14 年度及び前年度の届出排出量の都道府県別の増減を表 18 及び図 18 に示します。前年度に比べて全体の約 68% に当たる 32 の都府県で届出排出量は減少しています。減少した上位 5 府県は、愛知県 (4.4 千トン)、福島県 (2.5 千トン)、大阪府 (2.1 千トン)、茨城県 (2.0 千トン)、埼玉県 (1.5 千トン) です。逆に増加した上位 5 道県は、秋田県 (1.5 千トン)、北海道 (1.2 千トン)、静岡県 (0.56 千トン)、大分県 (0.33 千トン)、千葉県 (0.23 千トン) です。

図 18 平成 14 年度及び前年度の届出排出量の都道府県別の増減 (排出量の差及び比率)

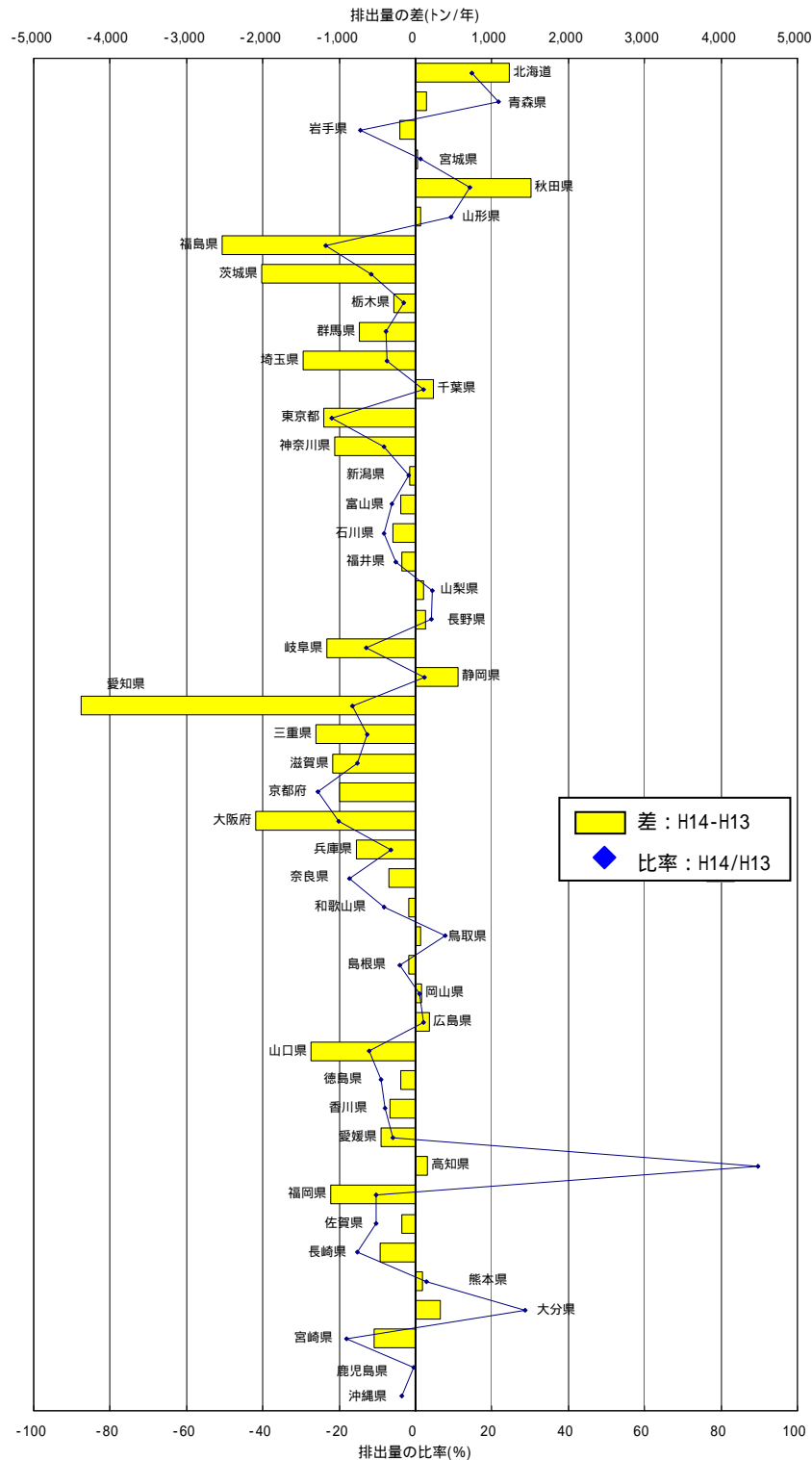


表 18 平成 14 年度及び前年度の届出排出量の都道府県別の増減

都道府県	届出排出量(トン/年)			
	平成14年度 :(a)	平成13年度 :(b)	差:(a)-(b)	比:(a) / (b)
北海道	9,612	8,386	1,227	1.15
青森県	804	661	143	1.22
岩手県	1,244	1,456	-213	0.85
宮城県	1,900	1,877	23	1.01
秋田県	12,184	10,674	1,510	1.14
山形県	816	746	70	1.09
福島県	8,206	10,733	-2,527	0.76
茨城県	15,489	17,506	-2,017	0.88
栃木県	9,077	9,364	-288	0.97
群馬県	8,812	9,550	-739	0.92
埼玉県	17,961	19,438	-1,477	0.92
千葉県	10,967	10,735	231	1.02
東京都	4,282	5,479	-1,197	0.78
神奈川県	11,684	12,739	-1,055	0.92
新潟県	4,391	4,467	-75	0.98
富山県	2,926	3,116	-190	0.94
石川県	3,250	3,545	-295	0.92
福井県	3,293	3,475	-182	0.95
山梨県	2,393	2,292	100	1.04
長野県	3,076	2,951	125	1.04
岐阜県	7,830	8,996	-1,167	0.87
静岡県	24,296	23,740	556	1.02
愛知県	22,124	26,500	-4,375	0.83
三重県	8,942	10,241	-1,299	0.87
滋賀県	6,071	7,153	-1,082	0.85
京都府	2,886	3,877	-991	0.74
大阪府	8,339	10,438	-2,099	0.80
兵庫県	11,441	12,221	-781	0.94
奈良県	1,640	1,986	-346	0.83
和歌山県	968	1,055	-86	0.92
鳥取県	946	879	67	1.08
島根県	2,003	2,090	-87	0.96
岡山県	7,600	7,519	81	1.01
広島県	8,694	8,516	178	1.02
山口県	9,758	11,122	-1,364	0.88
徳島県	1,908	2,099	-191	0.91
香川県	3,949	4,290	-341	0.92
愛媛県	7,014	7,466	-452	0.94
高知県	331	174	156	1.90
福岡県	9,609	10,716	-1,107	0.90
佐賀県	1,578	1,762	-184	0.90
長崎県	2,604	3,074	-470	0.85
熊本県	3,064	2,979	85	1.03
大分県	1,464	1,136	327	1.29
宮崎県	2,443	2,986	-543	0.82
鹿児島県	501	504	-3.1	0.99
沖縄県	84	88	-3.3	0.96
合計	290,453	312,798	-22,344	0.93

### (3)都道府県別の届出排出量

#### 1)北海道

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,227 トン（15%）増加しています。その主な内訳は、砒素及びその無機化合物（前年度比 1,200 トン増）鉛及びその化合物（同 240 トン増）の埋立処分の増加及びエチレングリコールの土壌への排出（98 トン）の新規届出による増加ですが、トルエンの大气への排出は、逆に 273 トンの大幅減少になっています。

#### 2)青森県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 143 トン（22%）増加しています。その主な内訳は、エチレングリコール（前年度比 74 トン増）キシレン（同 67 トン増）エチルベンゼン（同 26 トン増）等の増加と、クロロホルム（前年度比 17 トン減）等の減少です。

なお、エチレングリコールは土壌への排出が 36 トン減少したものの、公共用水域への排出が増加し、全体として 74 トンの増加になっています。

#### 3)岩手県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 213 トン（15%）減少しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 159 トン減）スチレン（同 44 トン減）エチルベンゼン（同 34 トン減）トルエン（同 33 トン減）クロロホルム（同 33 トン減）等の減少と、塩化メチレン（前年度比 28 トン増）等の増加です。

なお、これら 6 物質は主に大气への排出量において増減しています。

#### 4)宮城県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 23 トン（1.2%）増加しています。その主な内訳は、H C F C - 1 4 1 b（前年度比 65 トン減）クロロホルム（同 30 トン減）キシレン（同 28 トン減）等の減少と、亜鉛の水溶性化合物（前年度比 72 トン増）ふっ化水素及びその水溶性塩（同 34 トン増）マンガン及びその化合物（同 31 トン増）塩化メチレン（同 27 トン増）等の増加です。

なお、亜鉛の水溶性化合物は主に埋立処分量において増加しています。

#### 5)秋田県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,510 トン（14%）増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン（前年度比 164 トン減）カドミウム及びその化合物（同 23 トン減）等の減少と、アンチモン及びその化合物（前年度比 1,205 トン増）鉛及びその化合物（同 401 トン増）トリクロロエチレン（同 37 トン増）等の増加です。

なお、アンチモン及びその化合物、鉛及びその化合物は主に埋立処分量において増加しています。

#### 6)山形県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 70 トン（9.4%）増加しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 17 トン減）等の減少と、塩化メチレン（前年度比 33 トン増）H C F C - 1 4 1 b（同 23 トン増）トルエン（同 23 トン増）等の大气への排出を主とした増加です。

#### 7)福島県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 2,527 トン (24%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 1,315 トン減) 塩化メチレン (同 493 トン減) N, N - ジメチルホルムアミド (同 328 トン減) キシレン (同 116 トン減) トリクロロエチレン (同 114 トン減) 等の大気への排出を主とした減少と、チオ尿素 (前年度比 60 トン増) の公共用水域への排出を主とした増加などです。

#### 8)茨城県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 2,017 トン (12%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 653 トン減) H C F C - 2 2 (同 224 トン減) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 219 トン減) 塩化メチル (同 209 トン減) キシレン (同 101 トン減) 等の減少と、エチレングリコールモノメチルエーテル (前年度比 40 トン増) 等の増加です。

なお、H C F C - 2 2、塩化メチル、キシレンは主に大気への排出量において減少、ふっ化水素及びその水溶性塩は主に公共用水域への排出量において減少しています。

#### 9)栃木県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 288 トン (3.1%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 147 トン減) 塩化メチレン (同 98 トン減) トリクロロエチレン (同 76 トン減) 塩化メチル (同 40 トン減) 等の減少と、N, N - ジメチルホルムアミド (前年度比 77 トン増) エチルベンゼン (同 29 トン増) 等の増加です。

なお、これら 6 物質は主に大気への排出量において増減しています。

#### 10)群馬県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 739 トン (7.7%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 343 トン減) キシレン (同 337 トン減) スチレン (同 139 トン減) 塩化メチル (同 100 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 198 トン増) 等の増加です。

なお、これら 5 物質は主に大気への排出量において増減しています。

#### 11)埼玉県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,477 トン (7.6%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 1,123 トン減) キシレン (同 249 トン減) トリクロロエチレン (同 115 トン減) テトラクロロエチレン (同 59 トン減) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 51 トン減) 等の減少と、塩化メチレン (前年度比 170 トン増) エチルベンゼン (同 78 トン増) 等の増加です。

なお、トルエン、キシレン、トリクロロエチレン、塩化メチレンは主に大気への排出量において増減しています。

#### 12)千葉県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 231 トン (2.2%) 増加しています。その主な内訳は、塩化メチレン (前年度比 328 トン減) キシレン (同 115 トン減) スチレン (同 72 トン減) クロロホルム (同 42 トン減) 等の減少と、トルエン (前年度比 447 トン増) 酢酸ビニル (同 127 トン増) テトラフルオロエチレン (同 52 トン増) エチルベンゼン (同 49 トン増) 等の増加です。

なお、これら 8 物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 13)東京都

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,197 トン (22%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 999 トン減) 塩化メチレン (同 91 トン減) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 48 トン減) アリルアルコール (同 41 トン減) 等の減少と、トリクロロエチレン (前年度比 37 トン増) テトラクロロエチレン (同 23 トン増) 等の増加です。

なお、ふっ化水素及びその水溶性塩は主に公共用水域への排出量において減少しています。

### 14)神奈川県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,055 トン (8.3%) 減少しています。その主な内訳は、キシレン (前年度比 466 トン減) トルエン (同 217 トン減) 塩化メチレン (同 104 トン減) 塩化メチル (同 80 トン減) トリクロロエチレン (同 56 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 58 トン増) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 43 トン増) 等の増加です。

なお、ふっ化水素及びその水溶性塩は主に公共用水域への排出量において増加しています。

### 15)新潟県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 75 トン (1.7%) 減少しています。その主な内訳は、ベンゼン (前年度比 140 トン減) キシレン (同 70 トン減) 塩化メチレン (同 68 トン減) ほう素及びその化合物 (同 22 トン減) スチレン (同 21 トン減) 等の減少と、マンガン及びその化合物 (前年度比 133 トン増) トリクロロエチレン (同 95 トン増) テトラクロロエチレン (同 41 トン増) 塩化メチル (同 40 トン増) 等の増加です。

なお、マンガン及びその化合物は主に埋立処分量において増加しています。

### 16)富山県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 190 トン (6.1%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 56 トン減) キシレン (同 46 トン減) トリクロロエチレン (同 29 トン減) エチレングリコール (同 28 トン減) 等の減少と、クロロホルム (前年度比 28 トン増) 1, 2 - ジクロロエタン (同 14 トン増) 等の増加です。

なお、エチレングリコールは主に公共用水域への排出量において減少、その他の 5 物質のは主に大気への排出量において増減しています。

### 17)石川県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 295 トン (8.3%) 減少しています。その主な内訳は、キシレン (前年度比 111 トン減) エチレングリコール (同 100 トン減) エチレングリコールモノメチルエーテル (同 54 トン減) N, N - ジメチルホルムアミド (同 53 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 33 トン増) 等の増加です。

なお、キシレンは主に大気への排出量において減少、エチレングリコールは主に公共用水域への排出量において減少しています。

### 18)福井県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 182 トン (5.2%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 176 トン減) キシレン (同 82 トン減) ほう素及びその化合物 (同



40 トン減)等の減少と、スチレン(前年度比 66 トン増)、塩化メチレン(同 37 トン増)等の増加です。

なお、トルエン及びキシレンは大気への排出量において減少しています。

#### 19)山梨県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 100 トン(4.3%)増加しています。その主な内訳は、クロロホルム(前年度比 10 トン減)、H C F C - 1 4 1 b(同 10 トン減)等の減少と、トルエン(前年度比 112 トン増)、トリクロロエチレン(同 22 トン増)等の増加です。

なお、トルエン及びトリクロロエチレンは大気への排出量において増加しています。

#### 20)長野県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 125 トン(4.2%)増加しています。その主な内訳は、トルエン(前年度比 57 トン減)、テトラクロロエチレン(同 47 トン減)等の減少と、塩化メチレン(前年度比 123 トン増)、トリクロロエチレン(同 107 トン増)等の増加です。

なお、塩化メチレン及びトリクロロエチレンは大気への排出量において増加しています。

#### 21)岐阜県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,167 トン(13%)減少しています。その主な内訳は、二硫化炭素(前年度比 500 トン減)、トルエン(同 251 トン減)、塩化メチレン(同 213 トン減)、フェノール(同 58 トン減)、キシレン(同 41 トン減)等の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

#### 22)静岡県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 556 トン(2.3%)増加しています。その主な内訳は、N, N - ジメチルホルムアミド(前年度比 601 トン減)、キシレン(同 551 トン減)等の減少と、トルエン(前年度比 1,173 トン増)、エチレングリコールモノメチルエーテル(同 275 トン増)、エチルベンゼン(同 117 トン増)等の増加です。トルエンについては増産による使用量の増加が主な要因となっていると考えられます。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

#### 23)愛知県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 4,375 トン(17%)減少しています。その主な内訳は、トルエン(前年度比 1,930 トン減)、キシレン(同 1,644 トン減)、塩化メチレン(同 266 トン減)、スチレン(同 83 トン減)等多くの物質の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

#### 24)三重県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,299 トン(13%)減少しています。その主な内訳は、キシレン(前年度比 592 トン減)、トルエン(同 500 トン減)、トリクロロアセトアルデヒド(同 139 トン減)等の減少と、マンガン及びその化合物(前年度比 135 トン増)、クロロエタン(同 40 トン増)等の増加です。

なお、マンガン及びその化合物、トリクロロアセトアルデヒドは公共用水域への排出量において増減、クロロエタン、キシレン、トルエンは主に大気への排出量において増減しています。

## 25)滋賀県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,082 トン (15%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 802 トン減) 塩化メチレン (同 98 トン減) キシレン (同 83 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 15 トン増) 等の少量の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

## 26)京都府

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 991 トン (26%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 752 トン減) キシレン (同 46 トン減) エチルベンゼン (同 42 トン減) 等の減少と、ホルムアルデヒド (前年度比 38 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

## 27)大阪府

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 2,099 トン (20%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 697 トン減) 塩化メチレン (同 354 トン減) H C F C - 2 2 (同 164 トン減) エチルベンゼン (同 118 トン減) キシレン (同 118 トン減) 等多くの物質の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

## 28)兵庫県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 781 トン (6.4%) 減少しています。その主な内訳は、マンガン及びその化合物 (前年度比 222 トン減) トルエン (同 195 トン減) クロム及び三価クロム化合物 (同 163 トン減) スチレン (同 68 トン減) 等の減少と、ほう素及びその化合物 (前年度比 50 トン増) 塩化メチレン (同 36 トン増) 等の増加です。

なお、ほう素及びその化合物は公共用水域への排出量において増加、マンガン及びその化合物、クロム及び三価クロム化合物は埋立処分量において減少、塩化メチレン、トルエン、スチレンは主に大気への排出量において増減しています。

## 29)奈良県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 346 トン (17%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 212 トン減) 塩化メチレン (同 99 トン減) トリクロロエチレン (同 82 トン減) 等の減少と、スチレン (前年度比 28 トン増) N, N - ジメチルホルムアミド (同 20 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

## 30)和歌山県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 86 トン (8.2%) 減少しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 94 トン減) 塩化メチレン (同 41 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 15 トン増) ふっ化水素及びその水溶性塩 (同 14 トン増) ベンゼン (同 12 トン増) N, N - ジメチルホルムアミド (同 11 トン増) 等の増加です。

なお、ふっ化水素及びその水溶性塩は公共用水域への排出量において増加、エチルベンゼン、ベンゼン、N, N - ジメチルホルムアミド、トルエン、塩化メチレンは主に大気への排出量において増減しています。

### 31)鳥取県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 67 トン (7.6%) 増加しています。その主な内訳は、キシレン (前年度比 17 トン減) クロロホルム (同 4.9 トン減) 等の減少と、塩化メチレン (前年度比 80 トン増) トルエン (同 12 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 32)島根県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 87 トン (4.1%) 減少しています。その主な内訳は、ふっ化水素及びその水溶性塩 (前年度比 155 トン減) 二硫化炭素 (同 122 トン減) N, N - ジメチルホルムアミド (同 30 トン減) 等の減少と、トルエン (前年度比 183 トン増) マンガン及びその化合物 (同 23 トン増) 等の増加です。

なお、マンガン及びその化合物、ふっ化水素及びその水溶性塩は埋立処分量において増減、トルエン、二硫化炭素、N, N - ジメチルホルムアミドは主に大気への排出量において増減しています。

### 33)岡山県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 81 トン (1.1%) 増加しています。その主な内訳は、キシレン (前年度比 64 トン減) 酢酸ビニル (同 40 トン減) 等の減少と、塩化メチレン (前年度比 76 トン増) フェノール (同 58 トン増) エチレングリコール (同 56 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 34)広島県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 178 トン (2.1%) 増加しています。その主な内訳は、トルエン (前年度比 194 トン減) ベンゼン (同 29 トン減) メタクリル酸メチル (同 22 トン減) 等の減少と、エチルベンゼン (前年度比 173 トン増) スチレン (同 172 トン増) キシレン (同 133 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 35)山口県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,364 トン (12%) 減少しています。その主な内訳は、マンガン及びその化合物 (前年度比 354 トン減) トルエン (同 311 トン減) エチレングリコール (同 212 トン減) 等の減少と、キシレン (前年度比 175 トン増) エチルベンゼン (同 155 トン増) テトラクロロエチレン (同 105 トン増) 等の増加です。

なお、マンガン及びその化合物は主に埋立処分量において減少、エチレングリコールは公共用水域への排出量において減少、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、テトラクロロエチレンは主に大気への排出量において増減しています。

### 36)徳島県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 191 トン (9.1%) 減少しています。その主な内訳は、二硫化炭素 (前年度比 183 トン減) 塩化ビニリデン (同 63 トン減) 等の減少と、トルエン (前年度比 140 トン増) 等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 37)香川県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 341 トン（8.0%）減少しています。その主な内訳は、トルエン（前年度比 153 トン減）、キシレン（同 140 トン減）等の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

### 38)愛媛県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 452 トン（6.1%）減少しています。その主な内訳は、二硫化炭素（前年度比 530 トン減）、塩化メチレン（同 164 トン減）、ポリ（オキシエチレン）= ノニルフェニルエーテル（同 114 トン減）等の減少と、キシレン（前年度比 475 トン増）等の増加です。

なお、二硫化炭素、塩化メチレン、キシレンは主に大気への排出量において増減、ポリ（オキシエチレン）= ノニルフェニルエーテルは主に公共用水域への排出量において減少しています。

### 39)高知県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 156 トン（90%）増加しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 105 トン増）、トルエン（同 30 トン増）等の増加です。

なお、これらの物質は大気への排出量において増加しています。

### 40)福岡県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 1,107 トン（10%）減少しています。その主な内訳は、トルエン（前年度比 743 トン減）、クロロベンゼン（同 117 トン減）、キシレン（同 101 トン減）等の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

### 41)佐賀県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 184 トン（10%）減少しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 152 トン減）、トルエン（同 83 トン減）等の減少と、N,N-ジメチルホルムアミド（前年度比 46 トン増）等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

### 42)長崎県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 470 トン（15%）減少しています。その主な内訳は、キシレン（前年度比 277 トン減）、エチルベンゼン（同 123 トン減）、トルエン（同 59 トン減）等の減少です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において減少しています。

### 43)熊本県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 85 トン（2.8%）増加しています。その主な内訳は、キシレン（335 トン）等の減少と、トルエン（389 トン）等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増減しています。

#### 44)大分県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 327 トン（29%）増加しています。その主な内訳は、トルエン（前年度比 140 トン増）、スチレン（同 87 トン増）、キシレン（同 25 トン増）等の増加です。

なお、これらの物質は主に大気への排出量において増加しています。

#### 45)宮崎県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 543 トン（18%）減少しています。その主な内訳は、二硫化炭素（前年度比 632 トン減）の減少と、マンガン及びその化合物（前年度比 100 トン増）の埋立処分の増加によるものです。

#### 46)鹿児島県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 3.1 トン（0.62%）減少しています。その主な内訳は、トルエン（前年度比 22 トン減）の減少と塩化メチレン（前年度比 16 トン増）の増加によるものです。

なお、これらの物質は大気への排出量において増減しています。

#### 47)沖縄県

平成 14 年度の届出排出量は前年度に比べ 3.3 トン（3.7%）減少しています。その主な内訳は、ほう素及びその化合物（前年度比 9.8 トン減）等の減少と、ビスフェノールA型エポキシ樹脂（前年度比 5.1 トン増）等の増加です。

なお、ほう素及びその化合物は主に公共用水域への排出量において減少、ビスフェノールA型エポキシ樹脂は大気への排出量において増加しています。

<本資料の問い合わせ先>

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）  
化学物質管理センターリスク管理課

TEL: 03-3481-1967

FAX: 03-3481-1959

E-mail: [safe@prtr.nite.go.jp](mailto:safe@prtr.nite.go.jp)

URL: <http://www.prtr.nite.go.jp/>

集計表：物質別届出排出量・移動量

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
1	亜鉛の水溶性化合物	14	31,574	561,225	2	74,190	666,991	5,616,590	17,136	5,633,726	6,300,717
		13	37,140	639,720	25	12,052	688,937	6,856,851	23,258	6,880,110	7,569,047
2	アクリルアミド	14	1,208	652	2	0	1,862	20,243	45	20,288	22,150
		13	999	907	2	0	1,909	26,357	70	26,427	28,335
3	アクリル酸	14	197,791	39,712	0	0	237,503	494,245	7,230	501,476	738,979
		13	278,004	27,030	0	0	305,034	508,978	10,105	519,083	824,116
4	アクリル酸エチル	14	18,487	839	0	0	19,326	93,228	314	93,542	112,867
		13	21,096	1,342	0	0	22,438	46,004	274	46,278	68,715
5	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	14	232	20	0	0	253	7,301	0	7,301	7,553
		13	143	21	0	0	164	7,900	0	7,900	8,064
6	アクリル酸メチル	14	87,178	15,553	0	0	102,731	38,367	3	38,370	141,102
		13	78,101	13,601	0	0	91,702	33,327	0	33,327	125,028
7	アクリロニトリル	14	706,761	65,204	0	0	771,964	725,374	23	725,398	1,497,362
		13	879,603	66,018	0	0	945,621	662,273	204	662,477	1,608,098
8	アクroleイン	14	1,373	642	0	0	2,015	14,010	0	14,010	16,025
		13	1,854	590	0	0	2,444	11,000	0	11,000	13,444
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	14	6,233	0	1	0	6,234	142,113	1	142,113	148,347
		13	8,681	120	1	0	8,803	115,209	832	116,041	124,843
10	アジボニトリル	14	0	0	0	0	0	8,400	0	8,400	8,400
		13	0	0	0	0	0	1,700	0	1,700	1,700
11	アセトアルデヒド	14	101,883	51,349	0	0	153,232	211,800	0	211,800	365,032
		13	119,652	60,152	0	0	179,804	299,720	0	299,720	479,524
12	アセトニトリル	14	190,184	30,627	0	0	220,811	3,461,245	17,447	3,478,692	3,699,503
		13	266,554	8,225	0	0	274,779	3,197,808	10,179	3,207,987	3,482,765
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	14	65	12	0	0	76	1,594	0	1,594	1,671
		13	10	401	0	0	411	1,850	0	1,851	2,261
14	o-アニシジン	14	9	0	0	0	9	7	7	14	23
		13	8	0	0	0	8	6	7	12	20
15	アニリン	14	3,199	30,174	0	0	33,373	659,443	6,046	665,489	698,862
		13	3,194	39,951	0	0	43,145	595,842	6,724	602,566	645,712
16	2-アミノエタノール	14	54,467	23,631	0	0	78,098	5,039,910	104,506	5,144,417	5,222,514
		13	53,596	29,138	0	0	82,734	2,261,752	255,741	2,517,493	2,600,227
17	N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン(別名ジエチレントリアミン)	14	928	110,004	8	0	110,940	9,381	72	9,453	120,394
		13	944	120,023	12	0	120,979	11,265	71	11,336	132,315
18	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィブロンル)	14	0	0	0	0	0	394	0	394	394
		13	0	0	0	0	0	443	0	443	443
19	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール(別名アミトロール)	14	4	18	0	0	21	30	0	30	51
		13	10	26	0	0	36	8,009	0	8,009	8,045
20	2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィノイル]酪酸(別名グルホシネート)	14	0	0	0	0	0	140	0	140	140
		13	0	0	0	0	0	46	0	46	46
21	m-アミノフェノール	14	0	90	0	0	90	595	0	595	685
		13	0	121	0	0	121	37,037	0	37,037	37,158
22	アリルアルコール	14	5,320	2,048	0	0	7,368	128,523	10	128,533	135,901
		13	48,596	7,631	0	0	56,228	74,193	0	74,193	130,421
23	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	14	3,078	0	0	160	3,238	33,996	0	33,996	37,234
		13	4,001	0	0	0	4,001	27,377	0	27,377	31,378
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	14	5,528	35,308	0	270	41,106	614,395	34,022	648,417	689,523
		13	8,607	37,591	0	380	46,578	1,476,040	115,527	1,591,567	1,638,145
25	アンチモン及びその化合物	14	12,675	6,560	3	1,200,796	1,220,033	811,066	1,670	812,736	2,032,769
		13	8,283	4,090	6	1,310	13,689	685,092	1,049	686,140	699,829
26	石綿	14	31	64	0	0	95	3,167,806	12	3,167,818	3,167,913
		13	35	104	0	0	140	4,159,173	34	4,159,207	4,159,346
27	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート	14	543	0	0	0	543	10,105	0	10,105	10,648
		13	405	0	0	0	405	3,195	0	3,195	3,600
28	イソブレン	14	77,943	0	0	0	77,943	17,741	21,315	39,056	116,999
		13	122,138	0	0	0	122,138	20,971	16,744	37,715	159,853
29	4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノールA)	14	1,705	363	0	0	2,069	332,288	25,029	357,317	359,386
		13	3,888	417	0	0	4,305	412,892	31,346	444,239	448,544
30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	14	123,129	1,306	5,082	0	129,517	1,077,415	100	1,077,515	1,207,032
		13	138,034	4,745	348	130	143,257	856,168	98	856,266	999,523
31	2,2'-イソプロピリデンビス[(2,6-ジプロモ-4,1-フェニレン)オキシ]ジエタノール	14	0	0	0	0	0	901	0	901	901
		13	0	0	0	0	0	630	0	630	630
32	2-イミダゾリジンチオン	14	4	0	0	0	4	7,678	0	7,678	7,682
		13	4	0	0	0	4	15,327	0	15,327	15,331

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
33	1,1'-[イミノジ(オクタメチレン)]ジグアニジン(別名イミノクタジン)	14	0	2	0	0	2	24	0	24	26
		13	0	1	0	0	1	34	0	34	35
34	エチル=2-[4-(6-クロロ-2-キノキサリニルオキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名キザロホップエチル)	14	0	0	0	0	0	9	0	9	9
		13	0	0	0	0	0	130	0	130	130
35	S-エチル=2-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)チオアセート(別名フェノチオール又はMCPAチオエチル)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	O-エチル=O-(6-ニトロ-m-トリル)=sec-ブチルホスホルアミドチオアート(別名ブタミホス)	14	0	0	0	0	0	2,279	0	2,279	2,279
		13	0	0	0	0	0	8,385	0	8,385	8,385
37	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート(別名EPN)	14	2	28,104	2	0	28,108	297	11	308	28,417
		13	2	37,182	3	0	37,187	165	13	178	37,365
38	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン(別名ベンディメタリン)	14	3	0	0	0	3	3,203	6	3,208	3,212
		13	0	0	0	0	0	2,752	1	2,753	2,753
39	S-エチル=ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオアート(別名モリネート)	14	0	0	0	0	0	50	0	50	50
		13	0	0	0	0	0	46	0	46	46
40	エチルベンゼン	14	9,871,360	1,140	28	0	9,872,529	2,850,581	2,310	2,852,891	12,725,419
		13	9,156,687	1,865	103	0	9,158,655	3,370,147	25,866	3,396,013	12,554,668
41	エチレンイミン	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	4	0	0	4	120	0	120	124
42	エチレンオキシド	14	279,119	19,774	0	0	298,893	110,903	51,567	162,470	461,363
		13	338,748	24,198	0	0	362,946	104,524	51,094	155,618	518,564
43	エチレングリコール	14	888,306	1,448,914	250,636	99	2,587,955	5,484,009	307,418	5,791,426	8,379,381
		13	791,665	1,845,024	181,315	0	2,818,004	4,729,318	388,581	5,117,898	7,935,903
44	エチレングリコールモノエチルエーテル	14	296,760	20,600	0	0	317,359	263,155	13,411	276,566	593,925
		13	279,017	15,181	3	0	294,201	347,086	17,711	364,797	658,997
45	エチレングリコールモノメチルエーテル	14	1,357,818	7,665	0	0	1,365,482	508,955	400	509,354	1,874,836
		13	1,124,351	8,656	0	0	1,133,007	414,062	29	414,091	1,547,098
46	エチレンジアミン	14	12,351	165,807	0	0	178,158	227,059	499	227,558	405,716
		13	11,870	160,525	0	0	172,395	234,181	1,414	235,595	407,990
47	エチレンジアミン四酢酸	14	0	37,145	0	0	37,145	161,255	37,494	198,749	235,894
		13	0	25,788	0	0	25,788	129,455	65,111	194,566	220,354
48	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジネブ)	14	1	0	0	0	1	348	0	348	349
		13	1	0	0	0	1	580	0	580	581
49	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン(別名マンネブ)	14	0	0	0	0	1	11,407	0	11,407	11,407
		13	0	0	0	0	0	1,336	0	1,336	1,336
50	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物(別名マンコゼブ又はマンゼブ)	14	6	0	0	0	6	301	0	301	307
		13	11	0	0	0	11	455	0	455	466
51	1,1'-エチレン-2,2'-ピピリジニウム=ジプロミド(別名ジクアトジプロミド又はジクワット)	14	0	0	0	0	0	1,022	0	1,022	1,022
		13	0	0	0	0	0	57	0	57	57
52	4'-エトキシアセトアニリド(別名フェナセチン)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	5-エトキシ-3-トリクロロメチル-1,2,4-チアジアゾール(別名エクロメゾール)	14	0	0	0	0	0	2	1	3	3
		13	0	0	0	0	0	3	1	4	4
54	エピクロロヒドリン	14	98,065	2,012	0	0	100,077	765,790	90,037	855,827	955,904
		13	95,247	1,866	0	0	97,113	570,801	60,301	631,102	728,215
55	2,3-エポキシ-1-プロパノール	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	14	289,855	4,673	0	0	294,528	10,855	92,031	102,886	397,414
		13	376,658	4,356	0	0	381,014	88,006	28,000	116,006	497,020
57	2,3-エポキシプロピル=フェニルエーテル	14	83	0	3	0	86	2,258	2	2,260	2,346
		13	65	0	15	0	80	683	87	770	850
58	1-オクタノール	14	1,070	41	0	0	1,111	40,259	8	40,267	41,379
		13	1,924	49	0	0	1,973	127,319	21	127,340	129,313
59	p-オクチルフェノール	14	201	0	0	0	201	133,087	0	133,087	133,289
		13	118	0	0	0	118	128,289	0	128,289	128,406
60	カドミウム及びその化合物	14	2,619	4,794	0	119,428	126,841	197,093	7	197,100	323,941
		13	2,348	5,858	0	155,093	163,299	71,629	7	71,636	234,935
61	-カプロラクタム	14	6,505	205,136	0	0	211,641	250,946	1	250,948	462,589
		13	10,217	199,546	0	0	209,763	376,613	3	376,616	586,379
62	2,6-キシレノール	14	2,485	3	0	0	2,489	17,455	77	17,532	20,021
		13	5,461	0	0	0	5,461	70,023	27	70,050	75,511
63	キシレン	14	47,305,401	29,915	134	0	47,335,449	11,716,540	47,596	11,764,136	59,099,585
		13	52,355,274	35,270	372	110	52,391,025	12,894,267	52,613	12,946,880	65,337,905
64	銀及びその水溶性化合物	14	56	60	0	9,700	9,816	65,359	481	65,840	75,655
		13	67	103	2	7,800	7,972	30,136	156	30,292	38,264
65	グリオキサール	14	899	23,866	0	0	24,765	2,958	468	3,426	28,190
		13	569	23,474	0	0	24,042	5,486	430	5,916	29,958



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
66	グルタルアルデヒド	14	154	124	0	0	278	3,555	1,245	4,801	5,078
		13	69	60	0	0	129	2,398	1,167	3,565	3,693
67	クレゾール	14	128,362	23,115	0	0	151,477	482,924	554	483,478	634,955
		13	147,208	19,458	0	0	166,666	480,409	506	480,915	647,581
68	クロム及び三価クロム化合物	14	13,934	42,532	7	488,018	544,491	12,293,586	30,360	12,323,946	12,868,438
		13	23,368	56,783	69	592,584	672,804	12,856,722	10,995	12,867,717	13,540,521
69	六価クロム化合物	14	694	13,713	2	8	14,417	932,469	795	933,264	947,681
		13	1,198	18,835	2	1	20,036	649,757	3,659	653,416	673,452
70	クロロアセチル=クロリド	14	119	700	0	0	819	150,055	12	150,067	150,886
		13	184	920	0	0	1,104	130,008	9	130,017	131,121
71	o-クロロアニリン	14	33	1,320	0	0	1,353	338,130	1,050	339,180	340,533
		13	23	1,323	0	0	1,346	51,284	2,070	53,354	54,700
72	p-クロロアニリン	14	0	1,600	0	0	1,600	0	0	0	1,600
		13	0	1,900	0	0	1,900	0	0	0	1,900
73	m-クロロアニリン	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	3,040	0	3,040	3,040
74	クロロエタン	14	1,358,122	9,200	0	0	1,367,322	390	0	390	1,367,712
		13	1,379,110	140	0	0	1,379,250	320	0	320	1,379,570
75	2-クロロ-4-エチルアミノ-6- イソプロピルアミノ-1,3,5- トリアジン(別名アトラジン)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	2-クロロ-2'-エチル-N- (2-メトキシ-1-メチルエチル)- 6'-メチルアセトアニリド (別名メトラクロール)	14	0	0	0	0	0	36	3	39	39
		13	7	0	0	0	7	33	2	35	42
77	クロロエチレン(別名塩化ビニル)	14	614,045	15,442	0	120	629,607	27,391	10,200	37,591	667,199
		13	805,218	15,552	0	550	821,320	27,762	11,900	39,662	860,982
78	3-クロロ-N-(3-クロロ-5- トリフルオロメチル-2-ピリジ ル)-2,6-ジニトロ-p-トルイジン (別名フルアジナム)	14	0	0	0	0	0	115	0	115	115
		13	0	1	0	0	1	246	0	246	247
79	1-(2-[2-クロロ-4-(4- クロロフェノキシ)フェニ ル]-4-メチル-1,3-ジオキ ソラン-2-イル}メチル)-1H- 1,2,4-トリアゾール(別名 ジフェノコナゾール)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	1	0	1	1
80	クロロ酢酸	14	651	14,321	0	0	14,972	8,879	0	8,879	23,851
		13	645	25,409	0	0	26,054	15,017	3	15,020	41,074
81	2-クロロ-2',6'-ジエチル -N-(2-プロポキシエチル)ア セトアニリド(別名プレチクロール)	14	0	0	0	0	0	317	5	322	322
		13	0	0	0	0	1	689	8	696	697
82	2-クロロ-2',6'-ジエチル -N-(メトキシメチル)アセトア ニリド(別名アラクロール)	14	1	0	0	0	1	67	0	67	67
		13	1	0	0	0	1	58	0	58	58
83	1-クロロ-2,4-ジニトロベン ゼン	14	77	140	0	0	217	260	0	260	477
		13	1,378	185	0	170	1,733	200	0	200	1,933
84	1-クロロ-1,1-ジフルオロエ タン(別名HCFC-142b)	14	1,341,382	0	0	0	1,341,382	6,000	0	6,000	1,347,382
		13	1,580,697	0	0	0	1,580,697	1,000	0	1,000	1,581,697
85	クロロジフルオロメタン(別名HC FC-22)	14	683,596	2,400	0	0	685,996	162,065	0	162,065	848,061
		13	1,163,585	2,400	0	0	1,165,985	217,042	0	217,042	1,383,027
86	2-クロロ-1,1,1,2-テト ラフルオロエタン(別名HCFC- 124)	14	56,830	0	0	0	56,830	0	0	0	56,830
		13	111,200	0	0	0	111,200	0	0	0	111,200
87	クロロトリフルオロエタン(別名H CFC-133)	14	14,000	0	0	0	14,000	2,600	0	2,600	16,600
		13	8,500	0	0	0	8,500	0	0	0	8,500
88	クロロトリフルオロメタン(別名C FC-13)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89	o-クロロトルエン	14	28,064	87	0	0	28,151	58,000	0	58,000	86,151
		13	22,980	399	0	0	23,379	75,500	0	75,500	98,879
90	2-クロロ-4,6-ビス(エチル アミノ)-1,3,5-トリアジン (別名シマジン又はCAT)	14	3	1,199	0	0	1,202	38	0	38	1,239
		13	4	1,271	0	0	1,275	122	0	122	1,397
91	3-クロロプロペン(別名塩化アリ ル)	14	225,285	1,112	0	0	226,397	117,488	160	117,648	344,045
		13	214,603	340	0	0	214,943	58,005	210	58,215	273,158
92	4-クロロベンジル=N-(2,4- ジクロロフェニル)-2-(1H- 1,2,4-トリアゾール-1- イル)チオアセトイミダート(別名 イミベンコナゾール)	14	0	0	0	0	0	16	0	16	16
		13	0	0	0	0	0	29,016	0	29,016	29,016
93	クロロベンゼン	14	316,213	28,541	0	0	344,754	1,607,161	696	1,607,857	1,952,612
		13	419,538	26,191	0	7,900	453,629	1,390,324	545	1,390,869	1,844,498
94	クロロペンタフルオロエタン(別名 CFC-115)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95	クロロホルム	14	1,617,835	168,528	0	0	1,786,363	2,331,156	17,439	2,348,595	4,134,958
		13	1,783,704	174,368	0	0	1,958,072	2,331,322	16,968	2,348,289	4,306,361
96	クロロメタン(別名塩化メチル)	14	3,867,185	3,600	0	0	3,870,785	70,168	0	70,168	3,940,953
		13	4,402,707	2,710	0	0	4,405,417	32,720	2,000	34,720	4,440,137
97	(4-クロロ-2-メチルフェノキ シ)酢酸(別名MCP又はMCP A)	14	0	0	0	0	0	563	0	563	563
		13	0	0	0	0	0	37	0	37	37



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
128	1, 4 - ジクロロ - 2 - ニトロベンゼン	14	2	0	0	0	2	12,690	0	12,690	12,692
		13	200	2	0	27	229	7,590	0	7,590	7,819
129	3 - ( 3 , 4 - ジクロロフェニル ) - 1 , 1 - ジメチル尿素 ( 別名ジウ ロン又はDCMU )	14	222	13	0	0	235	10,159	18	10,177	10,412
		13	84	79	130	0	294	11,121	10	11,131	11,425
130	3 - ( 3 , 4 - ジクロロフェニル ) - 1 - メトキシ - 1 - メチル尿素 ( 別名リニユロン )	14	7	0	0	0	7	191	0	191	198
		13	0	0	0	0	0	188	0	188	188
131	2 , 4 - ジクロロフェノキシ酢酸 ( 別名 2 , 4 - D 又は 2 , 4 - P A )	14	0	0	0	0	0	0	3	3	3
		13	0	0	0	0	0	5	5	10	10
132	1 , 1 - ジクロロ - 1 - フルオロエ タン ( 別名 H C F C - 1 4 1 b )	14	1,763,611	340	0	0	1,763,951	233,052	3	233,054	1,997,005
		13	1,855,377	0	0	40	1,855,417	274,657	1	274,659	2,130,075
133	ジクロロフルオロメタン ( 別名 H C F C - 2 1 )	14	6,800	0	0	0	6,800	0	0	0	6,800
		13	28,300	0	0	0	28,300	1,000	0	1,000	29,300
134	1 , 3 - ジクロロ - 2 - プロパノール	14	2,993	30,449	38	0	33,480	13,615	17,012	30,627	64,108
		13	1,805	44,838	5	0	46,648	15,125	14,017	29,142	75,790
135	1 , 2 - ジクロロプロパン	14	147,868	50	0	0	147,917	226,076	290	226,366	374,283
		13	217,810	89	0	0	217,899	375,510	330	375,840	593,739
136	3 ' , 4 ' - ジクロロプロピオンア ニリド ( 別名プロパニル又はDCP A )	14	0	0	0	0	0	154	0	154	154
		13	0	0	0	0	0	128	0	128	128
137	1 , 3 - ジクロロプロペン ( 別名 D - D )	14	5,056	956	0	0	6,012	113	0	113	6,125
		13	3,378	1,206	0	0	4,584	282	0	282	4,866
138	3 , 3 ' - ジクロロベンジジン	14	0	0	0	0	0	11,000	0	11,000	11,000
		13	0	0	0	0	0	982	0	982	982
139	o - ジクロロベンゼン	14	106,979	2,032	0	0	109,011	652,048	2,491	654,539	763,550
		13	148,962	4,470	0	19	153,451	933,527	10,168	943,695	1,097,147
140	p - ジクロロベンゼン	14	80,867	124	0	0	80,991	110,721	250	110,971	191,962
		13	111,510	1,336	0	39	112,885	403,511	250	403,761	516,646
141	2 - [ 4 - ( 2 , 4 - ジクロロベン ゾイル ) - 1 , 3 - ジメチル - 5 - ピラゾリルオキシ ] アセトフェノン ( 別名ピラゾキシフェン )	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	4 - ( 2 , 4 - ジクロロベンゾイル ) - 1 , 3 - ジメチル - 5 - ピラ ゾリル = 4 - トルエンシルホナート ( 別名ピラゾレート )	14	3	4	0	0	8	248	12	260	267
		13	2	0	0	0	2	873	12	885	887
143	2 , 6 - ジクロロベンゾニトリル ( 別名ジクロベニル又はDBN )	14	78	0	0	0	78	11,108	3	11,111	11,189
		13	7	0	0	0	7	312	0	312	319
144	ジクロロベンタフルオロプロパン ( 別名 H C F C - 2 2 5 )	14	413,095	220	0	0	413,315	64,283	0	64,283	477,598
		13	502,576	0	0	0	502,576	237,092	0	237,092	739,668
145	ジクロロメタン ( 別名塩化メチレン )	14	25,385,977	20,274	55	0	25,406,306	8,365,788	8,399	8,374,188	33,780,494
		13	27,321,748	19,915	39	0	27,341,702	9,965,301	1,001	9,966,302	37,308,004
146	2 , 3 - ジシアノ - 1 , 4 - ジチア アントラキノン ( 別名ジチアノン )	14	0	1	0	0	1	0	0	0	1
		13	0	1	0	0	1	0	0	0	1
147	1 , 3 - ジチオラン - 2 - イリデン マロン酸ジイソプロピル ( 別名イソ プロチオラン )	14	0	9	0	0	9	171	0	171	179
		13	0	6	0	0	6	174	0	174	180
148	ジチオリン酸 O - エチル - S , S - ジフェニル ( 別名エディフェンホス 又はEDDP )	14	0	54	0	0	54	546	1	547	602
		13	0	70	0	0	70	977	1	978	1,048
149	ジチオリン酸 S - 2 - ( エチルチ オ ) エチル - O , O - ジメチル ( 別 名チオメトン )	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
150	ジチオリン酸 O - エチル - O - ( 4 - メチルチオフェニル ) - S - n - プロピル ( 別名スルプロホス )	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
151	ジチオリン酸 O , O - ジエチル - S - ( 2 - エチルチオエチル ) ( 別名 エチルチオメトン又はジスルホト ン )	14	38	28	0	0	66	345	5	350	416
		13	2	22	0	0	24	685	4	689	713
152	ジチオリン酸 O , O - ジエチル - S - [ ( 6 - クロロ - 2 , 3 - ジヒド ロ - 2 - オキソベンゾオキサゾリ ニル ) メチル ] ( 別名ホサロン )	14	3	0	0	0	3	26	0	26	29
		13	0	0	0	0	0	17	0	17	17
153	ジチオリン酸 O - 2 , 4 - ジクロロ フェニル - O - エチル - S - プロピ ル ( 別名プロチオホス )	14	0	26	0	0	26	1,000	0	1,000	1,026
		13	0	31	0	0	31	820	0	820	851
154	ジチオリン酸 S - ( 2 , 3 - ジヒド ロ - 5 - メトキシ - 2 - オキソ - 1 , 3 , 4 - テアアジアゾール - 3 - イル ) メチル - O , O - ジメチル ( 別名メチダチオン又はDMTP )	14	0	1	0	0	1	17	0	17	18
		13	0	2	0	0	2	17	0	17	19
155	ジチオリン酸 O , O - ジメチル - S - 1 , 2 - ビス ( エトキシカルボニ ル ) エチル ( 別名マラソン又はマラ チオン )	14	0	0	0	0	0	1,694	3	1,696	1,696
		13	0	0	0	0	0	2,034	4	2,037	2,037
156	ジチオリン酸 O , O - ジメチル - S - [ ( N - メチルカルバモイル ) メ チル ] ( 別名ジメトエート )	14	0	1	0	0	1	1,319	1	1,321	1,321
		13	0	1	0	0	1	1,818	1	1,819	1,820
157	ジニトロトルエン	14	10,058	3,120	0	0	13,178	23,120	31,000	54,120	67,298
		13	9,960	3,650	0	0	13,610	43,122	31,000	74,122	87,732



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
188	チオりん酸O, O - ジエチル - O - (3, 5, 6 - トリクロロ - 2 - ピ リジル) (別名クロルピリホス)	14	0	0	0	0	0	8,458	0	8,458	8,458
		13	0	0	0	0	0	395	0	395	395
189	チオりん酸O, O - ジエチル - O - (5 - フェニル - 3 - イソキサゾ リル) (別名イソキサチオン)	14	4	0	0	0	4	354	0	355	359
		13	4	0	0	0	4	678	6	683	687
190	チオりん酸O - 2, 4 - ジクロ フェニル - O, O - ジエチル (別名 ジクロフェンチオン又はECP)	14	0	0	0	0	0	6	0	6	6
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
191	チオりん酸O, O - ジメチル - S - { 2 - [ 1 - (N - メチルカルバモ イル) エチルチオ ] エチル } (別名 バミドチオン)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	2	0	2	2
192	チオりん酸O, O - ジメチル - O - (3 - メチル - 4 - ニトロフェニ ル) (別名フェントロチオン又はM EP)	14	1	2	0	0	3	8,466	9	8,476	8,479
		13	6	4	0	0	10	10,083	9	10,092	10,102
193	チオりん酸O, O - ジメチル - O - (3 - メチル - 4 - メチルチオフェ ニル) (別名フェンチオン又はMP P)	14	0	10	0	0	10	997	1	998	1,008
		13	0	11	0	0	11	1,602	3	1,605	1,616
194	チオりん酸O - 3, 5, 6 - トリク ロロ - 2 - ピリジル - O, O - ジメ チル (別名クロルピリホスメチル)	14	0	1	0	0	1	9	1	10	10
		13	0	1	0	0	1	9	1	10	11
195	チオりん酸O - 4 - プロモ - 2 - ク ロロフェニル - O - エチル - S - プ ロピル (別名プロフェノホス)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	1	0	0	1	17	0	17	18
196	チオりん酸S - ベンジル - O, O - ジイソプロピル (別名イプロベンホ ス又はIBP)	14	0	1	0	0	1	348	0	348	349
		13	0	1	0	0	1	658	0	658	659
197	デカブロモジフェニルエーテル	14	1,003	533	0	0	1,536	77,198	3,749	80,946	82,482
		13	2,702	879	0	0	3,582	86,590	2,665	89,256	92,838
198	1, 3, 5, 7 - テトラアザトリシ クロ [ 3, 3, 1, 1 (3, 7) ] デカン (別名ヘキサメチレンテトラ ミン)	14	42,080	635	3	0	42,718	233,089	9	233,098	275,816
		13	55,583	754	0	280	56,617	181,543	52	181,595	238,212
199	テトラクロロイソフタロニトリル (別名クロロタロニル又はTPN)	14	2	1	0	0	4	50,889	0	50,889	50,892
		13	102	3	0	0	105	33,329	0	33,329	33,435
200	テトラクロロエチレン	14	2,323,431	1,912	0	0	2,325,343	579,413	270	579,683	2,905,025
		13	2,296,321	2,217	0	0	2,298,538	687,710	379	688,090	2,986,627
201	テトラクロロジフルオロエタン (別 名CF2C - 112)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	5	0	0	0	5	0	0	0	5
202	テトラヒドロメチル無水フタル酸	14	1,238	0	0	0	1,238	455,115	0	455,115	456,353
		13	1,240	0	0	0	1,240	383,417	0	383,417	384,657
203	テトラフルオロエチレン	14	462,980	0	0	0	462,980	0	0	0	462,980
		13	501,460	0	0	0	501,460	0	0	0	501,460
204	テトラメチルチウラムジスルフィド (別名チウラム又はチラム)	14	81	2,417	0	0	2,497	44,153	0	44,153	46,650
		13	65	2,678	0	0	2,743	38,574	0	38,574	41,317
205	テレフタル酸	14	16	19,741	0	0	19,757	1,630,661	84,000	1,714,661	1,734,418
		13	274	25,044	0	0	25,318	1,363,967	136,112	1,500,079	1,525,398
206	テレフタル酸ジメチル	14	17	0	0	0	17	29,664	0	29,664	29,681
		13	18	0	0	47,000	47,018	211,876	0	211,876	258,894
207	銅水溶性塩 (錯塩を除く。)	14	12,708	109,730	2	9,743	132,182	4,790,677	5,486	4,796,162	4,928,345
		13	40,912	122,646	10	27,017	190,584	5,281,990	5,567	5,287,557	5,478,141
208	トリクロロアセトアルデヒド	14	105	41,000	0	0	41,105	0	0	0	41,105
		13	41	180,000	0	0	180,041	0	0	0	180,041
209	1, 1, 1 - トリクロロエタン	14	24,762	17,891	0	0	42,652	387	8	395	43,047
		13	48,803	35,364	0	0	84,167	1,442	4	1,445	85,612
210	1, 1, 2 - トリクロロエタン	14	22,190	6,565	0	0	28,755	18,535	0	18,535	47,290
		13	16,440	8,073	0	0	24,513	78,483	0	78,483	102,996
211	トリクロロエチレン	14	6,044,145	3,568	0	0	6,047,713	2,302,208	714	2,302,922	8,350,635
		13	6,340,735	5,595	0	0	6,346,330	1,816,698	1,319	1,818,016	8,164,346
212	2, 4, 6 - トリクロロ - 1, 3, 5 - トリアジン	14	5	292	0	0	297	23	0	23	320
		13	6	28	0	0	34	24	0	24	58
213	トリクロロトリフルオロエタン (別 名CF2C - 113)	14	27,710	1,360	0	0	29,070	0	0	0	29,070
		13	39,846	1,000	0	0	40,846	34,026	0	34,026	74,872
214	トリクロロニトロメタン (別名クロ ロピクリン)	14	3,010	0	0	0	3,010	240	0	240	3,250
		13	2,421	0	0	0	2,421	0	0	0	2,421
215	2, 2, 2 - トリクロロ - 1, 1 - ビス (4 - クロロフェニル) エタ ノール (別名ケルセン又はジコホ ル)	14	0	0	0	0	0	5	0	5	6
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
216	3, 5, 6 - トリクロロ - 2 - ピリ ジル) オキシ酢酸 (別名トリクロピ ル)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
217	トリクロロフルオロメタン (別名C FC - 11)	14	7,110	0	0	0	7,110	16,160	0	16,160	23,270
		13	5,983	0	0	0	5,983	9,723	0	9,723	15,706
218	1, 3, 5 - トリス (2, 3 - エポ キシプロピル) - 1, 3, 5 - トリ アジン - 2, 4, 6 (1H, 3H, 5H) - トリオン	14	77	154	0	0	231	32,800	0	32,800	33,031
		13	73	130	0	0	203	27,890	0	27,890	28,093

物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
219	2, 4, 6 - トリニトロトルエン	14	0	25	0	0	25	90	0	90	115
		13	5,410	21	0	0	5,431	497	0	497	5,928
220	2, 4, 6 - トリフルオロ - 2, 6 - ジニトロ - N, N - ジプロピル - p - トルイジン (別名トリフルラリン)	14	8	0	0	0	8	580	0	580	588
		13	13	0	0	0	13	570	0	570	583
221	2, 4, 6 - トリプロモフェノール	14	0	10	0	0	10	9,071	100	9,171	9,180
		13	0	6	0	0	6	7,144	480	7,624	7,630
222	トリプロモメタン (別名プロモホルム)	14	780	0	0	0	780	0	0	0	780
		13	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000
223	3, 5, 5 - トリメチル - 1 - ヘキサノール	14	502	0	0	0	502	1,510	0	1,510	2,012
		13	362	0	0	0	362	1,350	0	1,350	1,712
224	1, 3, 5 - トリメチルベンゼン	14	1,102,903	649	0	0	1,103,552	302,297	8,151	310,448	1,414,001
		13	1,115,321	107	0	0	1,115,428	327,956	11,791	339,746	1,455,174
225	o - トルイジン	14	5,265	191	0	0	5,456	394,054	19,534	413,647	419,103
		13	3,887	29	0	0	3,916	356,008	19,151	375,159	379,075
226	p - トルイジン	14	134	601	0	0	735	42,549	3,500	46,049	46,784
		13	96	153	0	0	249	93,018	3,500	96,518	96,767
227	トルエン	14	122,790,289	105,923	103	14,000	122,910,315	46,906,267	39,923	46,946,190	169,856,505
		13	132,419,022	114,959	175	12,001	132,546,157	45,390,690	64,914	45,455,604	178,001,761
228	2, 4 - トルエンジアミン	14	0	0	0	0	0	164,860	2,605	167,465	167,465
		13	260	0	0	0	260	4,668	2,700	7,368	7,628
229	2 - (2 - ナフチルオキシ) プロピオンアニリド (別名ナプロアニリド)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
230	鉛及びその化合物	14	45,951	30,234	644	9,484,905	9,561,734	7,426,749	254	7,427,003	16,988,737
		13	54,446	33,533	95	9,164,722	9,252,796	8,307,198	380	8,307,578	17,560,375
231	ニッケル	14	1,169	8,214	6	12	9,401	930,844	2,220	933,064	942,465
		13	1,340	16,691	35	7,051	25,116	930,022	5,321	935,343	960,459
232	ニッケル化合物	14	6,722	98,648	2	112,679	218,051	4,143,311	21,078	4,164,390	4,382,441
		13	11,481	105,144	54	135,770	252,449	3,178,340	29,042	3,207,382	3,459,831
233	ニトリロ三酢酸	14	0	120	0	0	120	8,020	0	8,020	8,140
		13	0	0	0	0	0	6,512	0	6,512	6,512
234	p - ニトロアニリン	14	0	0	0	0	0	81	25	106	106
		13	0	0	0	0	0	210	50	260	260
235	ニトログリコール	14	0	350	0	0	350	0	0	0	350
		13	0	420	0	0	420	0	0	0	420
236	ニトログリセリン	14	1,467	120	0	0	1,587	0	0	0	1,587
		13	786	150	0	0	936	0	0	0	936
237	p - ニトロクロロベンゼン	14	173	0	0	0	173	0	0	0	173
		13	117	200	0	2,700	3,017	82,000	0	82,000	85,017
238	N - ニトロソジフェニルアミン	14	0	0	0	0	0	151	0	151	151
		13	0	0	0	0	0	121	0	121	121
239	p - ニトロフェノール	14	0	282	0	0	282	20,055	0	20,055	20,337
		13	0	1	0	0	1	19,000	0	19,000	19,001
240	ニトロベンゼン	14	4,483	6,402	0	0	10,885	159,005	140,000	299,005	309,890
		13	9,273	5,402	0	0	14,675	128,004	140,478	268,482	283,157
241	二硫化炭素	14	4,904,900	92,070	0	0	4,996,970	3,780	272	4,052	5,001,022
		13	6,937,742	140,730	0	0	7,078,472	21,237	16,002	37,238	7,115,710
242	ノニルフェノール	14	414	9	3	0	426	95,391	1,600	96,991	97,417
		13	538	2,484	4	0	3,027	156,840	20	156,860	159,886
243	バリウム及びその水溶性化合物	14	2,543	1,338	4,619	0	8,499	1,423,048	32,989	1,456,038	1,464,537
		13	1,443	799	3,796	183	6,221	1,635,155	15,656	1,650,810	1,657,032
244	ピクリン酸	14	13	12	0	0	25	11,087	0	11,087	11,112
		13	33	4	0	0	37	10,082	0	10,082	10,119
245	2, 4 - ビス (エチルアミノ) - 6 - メチルチオ - 1, 3, 5 - トリアジン (別名シメトリン)	14	2	0	0	0	2	2,191	4	2,195	2,197
		13	9	0	0	0	9	289	3	292	301
246	ビス (8 - キノリノラト) 銅 (別名オキシ銅又は有機銅)	14	1,000	2	0	0	1,002	22,016	0	22,016	23,018
		13	792	1	0	0	793	10,071	0	10,071	10,864
247	3, 6 - ビス (2 - クロロフェニル) - 1, 2, 4, 5 - テトラジン (別名クロフェンチジン)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
248	ビス (ジチオリン酸) S, S' - メチレン - O, O, O', O' - テトラエチル (別名エチオン)	14	0	2	0	0	2	0	0	0	2
		13	0	2	0	0	2	0	0	0	2
249	ビス (N, N - ジメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 (別名ジラム)	14	13	24	0	0	37	9,289	0	9,289	9,327
		13	9	0	0	0	9	7,905	0	7,905	7,914
250	ビス (N, N - ジメチルジチオカルバミン酸) N, N' - エチレンビス (チオカルバモイルチオ亜鉛) (別名ポリカーバメート)	14	20	0	0	0	20	1,858	0	1,858	1,878
		13	30	0	0	0	30	1,867	0	1,867	1,897
251	ビス (水素化牛脂) ジメチルアンモニウム = クロリド	14	0	1,158	0	0	1,158	3,140	2,555	5,694	6,852
		13	0	868	0	0	868	2,892	2,144	5,036	5,903
252	砒素及びその無機化合物	14	11,370	22,631	0	7,147,683	7,181,684	180,985	11	180,996	7,362,681
		13	11,688	22,065	0	5,982,644	6,016,397	208,005	16	208,021	6,224,418
253	ヒドラジン	14	2,665	10,262	0	0	12,927	156,140	1,045	157,186	170,113
		13	2,896	11,030	0	0	13,926	208,063	638	208,701	222,627
254	ヒドロキノ	14	41	4,276	0	0	4,317	81,877	21,111	102,988	107,305
		13	39	20,455	0	0	20,494	170,158	37,610	207,768	228,262
255	4 - ビニル - 1 - シクロヘキセン	14	3,160	32	0	0	3,192	21,000	0	21,000	24,192
		13	1,870	30	0	0	1,900	24,000	0	24,000	25,900
256	2 - ビニルピリジン	14	1,155	3,900	0	0	5,055	873,700	0	873,700	878,755
		13	1,290	3,100	0	0	4,390	852,000	0	852,000	856,390



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
286	プロモトリフルオロメタン(別名ハロン-1301)	14	10,300	0	0	0	10,300	0	0	0	10,300
		13	13,100	0	0	0	13,100	0	0	0	13,100
287	2-プロモプロパン	14	1,110	0	0	0	1,110	880	30	910	2,020
		13	6,640	8	0	0	6,648	4,000	10	4,010	10,658
288	プロモメタン(別名臭化メチル)	14	567,468	12	0	0	567,480	26,595	0	26,595	594,075
		13	542,393	24	0	0	542,417	26,720	0	26,720	569,137
289	ヘキサキス(2-メチル-2-フェニルプロピル)ジスタノキサン(別名酸化フェンブタズ)	14	0	0	0	0	0	39	0	39	39
		13	0	0	0	0	0	35	0	35	35
290	1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロビスクロ[2.2.1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸(別名クロレンド酸)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
291	6,7,8,9,10,10-ヘキサクロロ-1,5,5a,6,9,9a-ヘキサヒドロ-6,9-メタノ-2,4,3-ベンゾジオキサエピン=3-オキシド(別名エンドスルファン又はベンゾエピン)	14	1	0	0	0	1	50	0	50	50
		13	0	0	0	0	0	88	0	88	88
292	ヘキサメチレンジアミン	14	3,897	22,070	0	0	25,967	25,343	37	25,380	51,346
		13	3,342	15,074	0	0	18,416	820	25	845	19,261
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	14	2,033	0	0	0	2,033	9,387	0	9,387	11,420
		13	1,832	1	0	0	1,833	16,683	0	16,683	18,516
294	ベリリウム及びその化合物	14	0	1	0	0	1	1,297	0	1,297	1,298
		13	0	1	0	0	1	1,360	0	1,360	1,361
295	ベンジリジン=トリクロリド	14	0	0	0	0	0	76,440	0	76,440	76,440
		13	0	0	0	0	0	224,620	0	224,620	224,620
296	ベンジリデン=ジクロリド	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
297	ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル)	14	513	26	0	0	539	16,237	458	16,695	17,234
		13	533	105	0	0	637	86,564	1,625	88,188	88,825
298	ベンズアルデヒド	14	173	0	0	0	173	47,867	1,004	48,871	49,044
		13	377	1,100	0	0	1,477	48,082	1,620	49,702	51,179
299	ベンゼン	14	1,806,664	20,855	0	2	1,827,521	720,111	2,978	723,089	2,550,610
		13	2,416,919	14,774	1	710	2,432,404	827,736	10,408	838,144	3,270,547
300	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	14	5	1	0	0	6	4,887	0	4,887	4,893
		13	6	1	0	0	7	17,745	0	17,745	17,752
301	2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド(別名メフェナセット)	14	0	1	0	0	1	427	0	427	428
		13	4	2	0	0	6	1,013	0	1,013	1,019
302	ペンタクロロニトロベンゼン(別名キントゼン又はPCNB)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
303	ペンタクロロフェノール	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	ほう素及びその化合物	14	110,626	2,392,009	14	2,547	2,505,196	1,595,938	22,030	1,617,967	4,123,163
		13	125,329	2,130,244	39	2,851	2,258,463	1,595,646	17,778	1,613,424	3,871,886
305	ホスゲン	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
306	ポリ塩化ビフェニル(別名PCB)	14	0	241	0	0	241	1	0	1	242
		13	0	288	0	0	288	1	0	1	289
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	14	7,806	218,892	5	140	226,843	792,686	148,746	941,432	1,168,274
		13	4,699	225,979	2	0	230,680	1,176,122	167,830	1,343,952	1,574,633
308	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	14	1,548	3,505	0	0	5,053	106,607	278	106,885	111,938
		13	2,499	1,486	0	0	3,985	124,387	273	124,660	128,645
309	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	14	12,275	97,905	0	63	110,243	569,600	68,076	637,676	747,919
		13	11,396	294,844	4	740	306,983	597,325	282,772	880,097	1,187,079
310	ホルムアルデヒド	14	342,043	68,944	2	1,300	412,290	1,104,305	92,686	1,196,991	1,609,281
		13	367,100	81,388	36	1,000	449,524	895,951	113,657	1,009,608	1,459,132
311	マンガン及びその化合物	14	30,462	1,085,210	362	3,387,310	4,503,345	24,690,373	6,666	24,697,039	29,200,383
		13	37,581	1,038,694	24	3,715,841	4,792,139	19,153,125	7,751	19,160,876	23,953,016
312	無水フタル酸	14	3,273	1,026	32	0	4,330	453,372	120,481	573,853	578,183
		13	22,910	15	2	110	23,038	226,182	400,801	626,983	650,021
313	無水マレイン酸	14	6,061	121	0	250	6,431	375,388	13,413	388,801	395,232
		13	10,004	236	0	220	10,460	249,516	13,458	262,974	273,434
314	メタクリル酸	14	23,733	37,644	0	0	61,377	379,296	11,054	390,350	451,726
		13	93,921	20,429	0	0	114,351	306,159	394	306,554	420,904
315	メタクリル酸2-エチルヘキシル	14	219	20	0	0	239	10,623	0	10,623	10,862
		13	155	8	0	0	163	8,773	0	8,773	8,936
316	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	14	11,138	61	0	0	11,199	43,430	1,601	45,032	56,231
		13	2,632	29	0	0	2,661	51,569	1,103	52,672	55,333
317	メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル	14	194	0	0	0	194	35	0	35	229
		13	273	0	0	0	273	45	0	45	318
318	メタクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	14	296	2,386	0	0	2,682	58,190	2	58,192	60,874
		13	252	3,929	0	0	4,181	114,960	1	114,961	119,141
319	メタクリル酸n-ブチル	14	5,928	855	0	0	6,783	79,128	8	79,136	85,919
		13	7,634	247	0	0	7,881	75,275	6	75,281	83,162
320	メタクリル酸メチル	14	805,690	72,088	710	0	878,488	511,352	3,848	515,200	1,393,688
		13	757,342	74,264	39	0	831,645	571,902	4,700	576,602	1,408,247
321	メタクリロニトリル	14	19,357	280	0	0	19,637	2,005	0	2,005	21,642
		13	704	204	0	0	908	819	0	819	1,727



物質番号	対象物質 物質名	年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
			大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
322	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名フェリムゾン)	14	0	100	0	0	100	753	0	753	853
		13	0	0	0	0	0	1,308	0	1,308	1,308
323	N-メチルアニリン	14	32	0	0	0	32	280	0	280	312
		13	63	0	0	0	63	310	0	310	373
324	メチル=イソチオシアネート	14	75	0	0	0	75	0	0	0	75
		13	18	0	0	0	18	170	0	170	188
325	N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名イソプロカルブ又はMIPC)	14	0	0	0	0	0	12	0	12	12
		13	0	0	0	0	0	150	0	150	150
326	N-メチルカルバミン酸2-イソプロポキシフェニル(別名プロポキシル又はPHC)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
327	N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボフラン)	14	0	0	0	0	0	80	0	80	80
		13	0	0	0	0	0	300	0	300	300
328	N-メチルカルバミン酸3,5-ジメチルフェニル(別名XMC)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329	N-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名カルバリル又はNAC)	14	24	1	0	0	25	391	0	391	416
		13	12	1	0	0	12	490	0	490	502
330	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル(別名フェノカルブ又はBPMC)	14	0	0	0	0	0	1,533	0	1,533	1,533
		13	1	2	0	0	2	4,214	0	4,214	4,217
331	メチル=3-クロロ-5-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート(別名ハロスルフロメチル)	14	0	0	0	0	0	51	0	51	51
		13	0	0	0	0	0	42	0	42	42
332	3-メチル-1,5-ジ(2,4-キシリル)-1,3,5-トリアザペンタ-1,4-ジエン(別名アミトラス)	14	0	0	0	0	0	55	0	55	55
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
333	N-メチルジチオカルバミン酸(別名カーバム)	14	0	0	0	0	0	25	0	25	25
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
334	6-メチル-1,3-ジチオロ[4,5-b]キノキサリン-2-オン	14	0	8	0	0	8	185	0	185	193
		13	0	8	0	0	8	124	0	124	132
335	-メチルスチレン	14	56,012	103	0	0	56,115	54,139	501	54,640	110,755
		13	59,689	62	0	0	59,750	199,001	422	199,423	259,173
336	3-メチルピリジン	14	13,133	5,000	0	0	18,133	21,600	37	21,637	39,770
		13	19,365	6,500	0	0	25,865	79,000	0	79,000	104,865
337	S-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート(別名ジメピレート)	14	0	0	0	0	0	14	0	14	14
		13	0	0	0	0	0	50	0	50	50
338	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート)	14	27,679	0	0	0	27,679	1,186,411	0	1,186,411	1,214,090
		13	36,030	0	0	0	36,030	374,217	0	374,217	410,247
339	2-(1-メチルプロピル)-4,6-ジニトロフェノール	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
340	4,4'-メチレンジアニリン	14	0	0	0	0	0	25,425	0	25,425	25,425
		13	0	0	0	0	0	88,616	0	88,616	88,616
341	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート	14	795	0	0	0	795	13,429	0	13,429	14,224
		13	842	0	0	0	842	652,295	0	652,295	653,137
342	N-(6-メトキシ-2-ピリジニル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-tert-ブチルフェニル(別名ピリブチカルブ)	14	1	0	0	0	1	1,200	0	1,200	1,202
		13	1	1	0	0	2	1,088	0	1,088	1,090
343	9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン(別名メトキサレン)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
344	2-メトキシ-5-メチルアニリン	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
345	メルカプト酢酸	14	53	0	0	0	53	143,755	0	143,755	143,808
		13	1,063	1	0	0	1,064	103,750	0	103,750	104,814
346	モリブデン及びその化合物	14	6,450	90,521	48	3,517	100,536	1,337,754	5,213	1,342,968	1,443,504
		13	7,603	78,872	601	4,146	91,222	1,483,164	12,398	1,495,562	1,586,784
347	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ピニル=ジエチル(別名クロルフェニルホス又はCVP)	14	0	0	0	0	0	9	0	9	9
		13	0	1	0	0	1	5	0	5	6
348	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ピニル=ジメチル(別名ジメチルホス)	14	0	0	0	0	0	57	0	57	57
		13	0	0	0	0	0	744	0	744	744
349	りん酸1,2-ジプロモ-2,2-ジクロロエチル=ジメチル(別名ナレド又はBRP)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
350	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロピニル(別名ジクロロホス又はDDVP)	14	520	22	0	0	543	6,676	140	6,816	7,359
		13	1,240	46	0	0	1,286	2,801	140	2,941	4,227

対象物質		年度	排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量 合計
物質 番号	物質名		大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への 移動	合計	
351	りん酸ジメチル = ( E ) - 1 - メチ ル - 2 - ( N - メチルカルバモイ ル ) ビニル ( 別名モノクロトホス )	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
352	りん酸トリス ( 2 - クロロエチル )	14	6,000	0	0	0	6,000	2,307	0	2,307	8,307
		13	9,200	0	0	0	9,200	3,748	0	3,748	12,948
353	りん酸トリス ( ジメチルフェニル )	14	292	0	0	0	292	9,887	0	9,887	10,179
		13	771	0	0	0	771	40,445	0	40,445	41,216
354	りん酸トリ - n - ブチル	14	0	1,246	0	0	1,246	230	0	230	1,476
		13	0	1,164	0	0	1,164	5,657	0	5,657	6,821
合計		14	255,676,328	12,031,434	304,718	22,440,983	290,453,463	214,497,502	2,995,127	217,492,629	507,946,092
		13	279,481,691	12,631,080	233,980	20,451,016	312,797,767	212,414,973	3,973,262	216,388,235	529,186,002